

誰でも分かる & 使える！

はじめての

# 生成AI

～基本から便利サービスまで



各種ガイドブックの  
ご紹介はこちら



お問い合わせ

株式会社 サテライトオフィス

TEL 050-5835-0396

FAX 050-6861-2893

<https://www.sateraito.jp>

〒135-0016 東京都江東区東陽4-3-1 東陽町信栄ビル4階



株式会社 ネクストセット

TEL 050-5835-1092

<https://www.nextset.co.jp>



このカタログに記載された情報は、2024年9月現在のものです。仕様は予告なしに変更することがあります。  
Copyright (C) 2024 Sateraito Office, Inc. All rights reserved. Sateraito Office、サテライト オフィスは、株式会社サテライトオフィスの名称、商標または登録商標です。  
その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

# 誰でも分かる&使える! はじめての生成AI～基本から便利サービスまで

## CONTENTS

### PART 1 生成AIとは?

■ OpenAIのChatGPTの登場が世界に与えたインパクト	1
■ なぜ、ChatGPTは人間のように自然に会話できるのか?	2
■ 大規模言語モデル(LLM)とは?	3
■ そして訪れた「生成AI」ブーム	4

### PART 2 生成AIサービスの種類

■ テキスト生成系	5
■ 画像生成系	6
■ 音声生成系	7
■ 音楽生成系	8
■ 動画生成系	9
■ マルチモーダル系	10

### PART 3 ビジネスパーソンが活用できる主な生成AIサービス

■ ChatGPT	11
■ Claude(クロード)	12
■ Gemini(ジェミニ)	12
■ Copilot(コパイロット)	13
■ Stable Diffusion(ステーブルディフュージョン)/Midjourney(ミッドジャーニー)	13
■ Adobe Firefly(アドビファイアーフライ)	14
■ Perplexity(パープレキシティ)	14
■ Notta(ノッタ)	15

### PART 4 生成AIのビジネスでの活用例

■ メールの文章を作成する	16
■ キャッチコピーを作成する	17
■ アンケート項目を作成する	17
■ 請求書などのテンプレートを作る	18
■ スケジュールを作成する	18
■ 人名を「姓」と「名」に分離する	19
■ 翻訳する	19
■ 要約する	20
■ ティベート/ブレインストーミング	20

### PART 5 望ましい結果を得るためのプロンプトのコツ

■ コツ1:何をするかを明確に指示する	21
■ コツ2:文脈(コンテキスト)を指定する	22
■ コツ3:入力データを指定する	24
■ コツ4:出力形式を指定する	25

### PART 6 知っておきたい生成AIのリスクと課題

■ ハルシネーション	26
■ 著作権	27
■ 情報漏洩	28
■ AI倫理、フェイクニュース、サイバー攻撃、オレオレ詐欺……等々	29
■ 最新情報は検索できない	29

### PART 7 サテライトオフィスが提供する生成AIサービス

■ サテライトAI・AIボード	32
■ サテライトAI・AIボード2	33
■ サテライトAI・社内チャットAI	33
■ サテライトAI・社内ポータルAI	34
■ サテライトAI・AIドキュメント	34
■ サテライトAI・AIメール	35
■ サテライトAI・議事録作成AI	36
■ サテライトAI・AI関数	37
■ サテライトAI・プラグイン(ChatGPTプラグイン)	39
■ サテライトAI・社内ドキュメントRAG学習 データ作成SDK	40
■ サテライトAI・サイドパネルAI	41
■ その他の生成AIサービス	42

## 生成AIとは？

「生成AI」がブームです。では、実際に使ってみた方はどれくらいいるのでしょうか？ もちろん、仕事や勉強でバリバリ使っている方もいると思いますが、中には「じつは、まだ……」という方も多いのではないのでしょうか。安心してください。生成AIは利用するだけなら、とても簡単です。ここでは「生成AIとは何か」から説明しますので、まずは基本を知り、ぜひ生成AIの世界に一步を踏み出してください。

### OpenAIのChatGPTの登場が世界に与えたインパクト

2022年11月30日、米国のOpenAI（オープンイーアイ）という会社が、突如、「ChatGPT（チャットジーピーティー）」というチャットボットをリリースしました。チャットボットとは、文字を介して人間と会話するプログラムのことです。たとえば、人間が「こんにちは」と入力すれば、「こんにちは、お元気ですか」と返事を返してくれます。

ただし、従来のチャットボットは、とても人間のように会話できるレベルにはありませんでした。あらかじめ決められた情報、たとえば商品やサービスの使い方、トラブル時の連絡先など、決まり切った答えは返してくれますが、関係のない質問をするとトンチンカンな回答が返ってきたり、「分かりません」といった返事を繰り返したりするだけでした。

ところが、ChatGPTは違いました。まるで、コンピュータの向こうに本物の人間がいるかのような自然な回答を返してくれます。しかも、どんな質問をしても、その分野の専門家のような詳しい情報を、人間のような自然な文章で返してくれるのです。

世界中の人々は「これはすごい!」とびっくりしました。そして、「なぜ、こんなことができるんだ」と、その仕組みに関心が集まりました。



OpenAIのChatGPT。人間のような自然な会話（チャット）が可能で、2022年11月30日にリリースされ、現在も機能・性能がどんどん進化しています。

## なぜ、ChatGPTは人間のように自然に会話できるのか？

なぜ、ChatGPTは人間のような自然な会話ができるのでしょうか。その背景には、人工知能（AI）の長年の研究の積み重ねがありました。

特に大きな転換点となったのが、2017年にGoogleの研究者達が発表した「トランスフォーマー（Transformer）」という仕組みです。これは、「ニューラルネットワーク」という人間の脳のような構造を使って、入力された文章の次にくる単語の確率を計算する仕組みです。

たとえば、次のような文章を考えてみましょう。括弧内には、1～3のどの言葉が入るでしょうか。

例： 慌てた彼はグラスの水を思わず（ ）

1. 飲んだ
2. こぼした
3. 吹き出した

例： 慌てた彼はグラスの水を思わず（ ）

- |          |     |
|----------|-----|
| 1. 飲んだ   | 30% |
| 2. こぼした  | 70% |
| 3. 吹き出した | 0%  |

では、次の文章はどうでしょうか。

例： 慌てた彼は口に含んでいた水を思わず（ ）

1. 飲んだ
2. こぼした
3. 吹き出した

例： 慌てた彼は口に含んでいた水を思わず（ ）

- |          |     |
|----------|-----|
| 1. 飲んだ   | 30% |
| 2. こぼした  | 10% |
| 3. 吹き出した | 60% |

慌てているので「1. 飲んだ」も「2. こぼした」もありそうですが、グラスにある水を吹き出すことはできないので「3. 吹き出した」はないでしょう。確率を計算するとしたら、次のような感じでしょうか。

今度は口に含んでいるので「3. 吹き出した」がいちばんしっくりきます。ただし、「1. 飲んだ」も十分ありえますし、「2. こぼした」も表現としてはあるでしょう。確率を出すとしたら、次のような感じになると思います。

このように、文章が入力されたあとにくる単語の確率は、前の文章によって変化します。このような確率を計算するのが「トランスフォーマー」であり、その仕組みを使って単語を次々と出力しているのがChatGPTです。

つまり、ChatGPTは人が入力した文章の意味を理解したうえで、それに適した文章を返しているわけではありません。あくまで確率的に言葉を出力しているだけです。

それにもかかわらず、あたかも人間が考えたかのような自然な文章が返ってくるのが、ChatGPTの不思議でスゴいところなのです。



## 大規模言語モデル(LLM)とは?

実際にChatGPTのようなプログラムを作るには、トランスフォーマーの仕組みを使って大量のテキストデータを学習(トレーニング)させる必要があります。その結果、できるのが「大規模言語モデル」です。英語では「Large Language Model」といい、略して「LLM」と呼ばれます。

LLMの性能を表す1つの指標が「パラメータ」です。一般には、パラメータの数が多いほど、そのLLMはより自然で正確な出力ができるとされています。

たとえば、ChatGPTで使われている「GPT-3」というLLMは、1750億のパラメータを持っています。なお、最新のChatGPTで使われている「GPT-4」のパラメータは、それより多いとされていますが、正式な数値は公開されていません。

LLMは、現在、多くの企業や大学などが開発・公開しています。特定の分野に強いLLM、オープンソースとして開発されているLLMなど、さまざまな種類が登場し、今後も、その数は増えていくと思われます。以下に、主なLLMの特徴を紹介します。

### 代表的なLLMのパラメータ数と特徴

名前	開発会社	パラメータ数	特徴
GPT-4	OpenAI	不明	高度な自然言語理解と生成能力。複数のタスクで優れた性能を発揮し、テキストの文脈理解が強化されている。GPT-3より高性能。
GPT-3	OpenAI	1750億	多様なタスクで優れた性能を発揮し、文章生成、翻訳、質問応答など幅広い用途に対応。
Claude 2 (クロード2)	Anthropic	不明	人間の意図を理解しやすく、対話型アシスタントやコーチングに最適化されたモデル。安全性と倫理を重視して設計されている。
Gemini (ジェミニ)	Google	100億/6000億/1.6兆	Googleが開発したPaLM 2をさらに強化したLLM。テキストだけでなく、画像や動画などのマルチモーダルな情報を処理できる。Nano/Pro/Ultraの3つのバージョンがあり、バージョンによってパラメータ数が異なる。
LLama 2 (ラマ2)	Meta	70億/130億/700億	学習効率を重視し、小規模なパラメータ数でも高性能を発揮。オープンソースで提供されており、研究やカスタマイズが可能。パラメータ数の異なる3つのモデルが提供される。
Mistral 7B (ミストラル7B)	Mistral AI	70億	非常に効率的な計算資源使用で、少ないパラメータ数でも高い性能を実現したオープンソースのLLM。汎用性が高く、さまざまなタスクに対応できる。フランスの企業 Mistral AIが開発。

## そして訪れた「生成AI」ブーム

ChatGPTの登場は、ビジネスの世界にも大きな影響を与えました。特に大きな影響を受けたのがGoogleです。

普通の文章で質問したら、何でも答えてくれるChatGPTは、Googleが得意としているインターネット検索の世界を変えてしまうかもしれません。そこでGoogleは、社内に「コード・レッド」と呼ばれる緊急事態宣言を出して、この事態への対応を進めました。そうして開発されたのがGemini(ジェミニ)という生成AIです。OpenAIとGoogleの開発競争はいまでも続いています。

また、マイクロソフトも大きな影響を受けた1社です。マイクロソフトは、ChatGPTを開発したOpenAIに大規模な出資をして、技術的な関係を深めています。その結果、マイクロソフトのWindowsやOfficeソフトには、ChatGPTと同じ技術を使った「Copilot(コパイロット)」という生成AIが搭載されるようになりました。

その他にも、FacebookやInstagramで知られるメタ(Meta)が独自の生成AIを開発したり、アップルがiPhoneにChatGPTを搭載することを発表したりと、現在のIT業界は生成AIを中心に回っているといっても過言ではありません。

もちろん、生成AIの影響はその他の業界にも広がっています。生成AIを使ったさまざまなサービスが登場して、世界中が「生成AIブーム」に湧いている状態です。同時に、生成AIの研究・開発も急ピッチで進み、私達の仕事や生活のスタイルは、いま、大きく変わろうとしています。



TIPS

### これが3度目のAIブーム

AIのブームは、今回が3度目だといわれています。

- 第1次ブーム** 1956年に開催されたダートマス会議をきっかけに、20年間にわたって続きました。ルールに基づいて推論するシステムが発展しましたが、複雑な問題に対してはあまり有効ではありませんでした。
- 第2次ブーム** 1980年代後半～1990年代初頭にかけて、専門家の意思決定プロセスを模倣する「エキスパートシステム」が注目されました。
- 第3次ブーム** 2010年代～現在、ビッグデータ活用とディープラーニング技術の発展により生成AIが登場し、現在もブームが続いています。



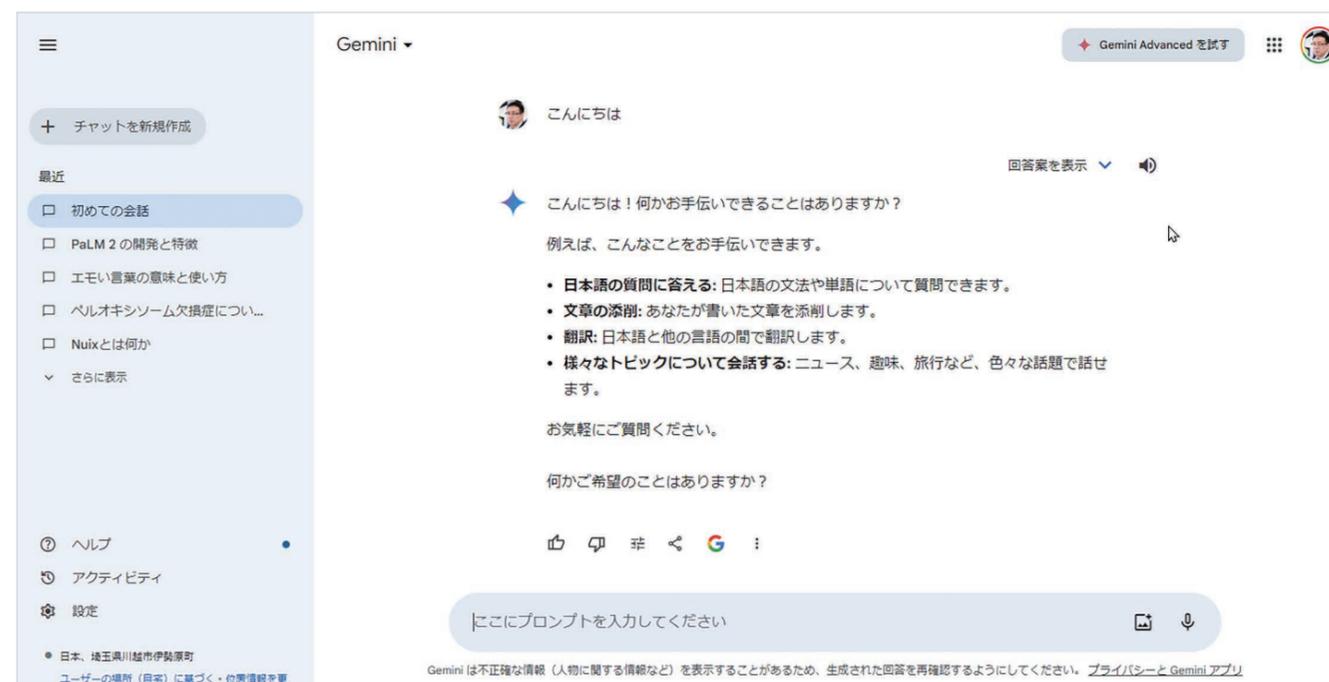
## 生成AIサービスの種類

ひとことで「生成AI」といっても、生成AIにはいくつかの種類があります。ここでは、生成AIの代表的な種類とその特徴、主なサービスについて説明します。

### テキスト生成系

ChatGPTのようにテキスト(文字)を生成するタイプです。人が入力した質問に回答するだけでなく、文章の翻訳、要約、校正をすることもできます。また、プログラミングのコードを自動的に作ることもできます。

なお、もともとテキスト生成系のサービスだったのが、機能が強化されて画像や音声も扱えるマルチモーダル系のサービスへと進化することも少なくありません。

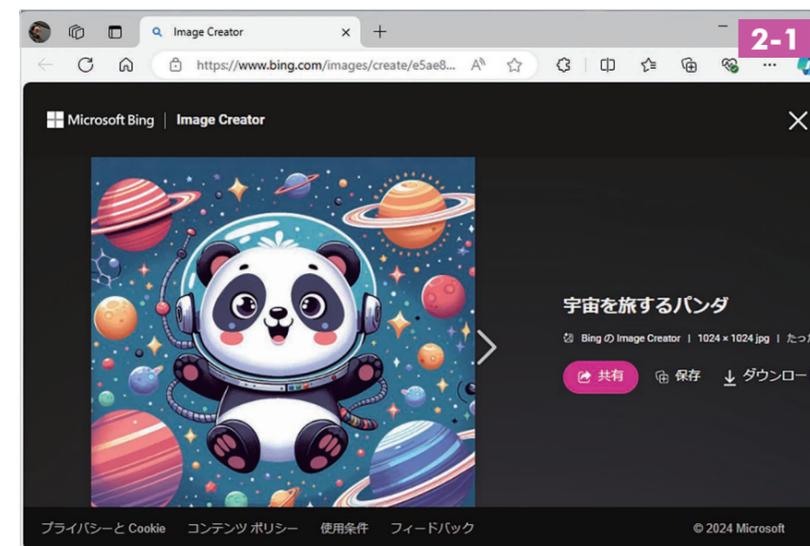


GoogleのGemini、ChatGPTと同様に人間のように文字で会話することができます。

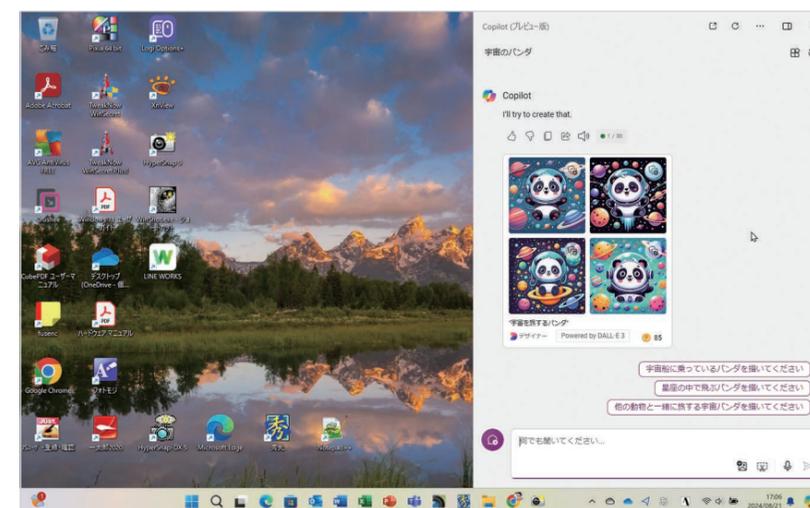
ChatGPT	<a href="https://chatgpt.com/">https://chatgpt.com/</a>
Gemini	<a href="https://gemini.google.com/">https://gemini.google.com/</a>
Claude	<a href="https://claude.ai/">https://claude.ai/</a>

### 画像生成系

文章から画像を生成するタイプの生成AIです。たとえば、2-1の画像はWindows 11に標準搭載されている生成AIである「Copilot」に、「宇宙を旅するパンダを描いてください」と入力して得られた画像です。



Windows 11のCopilotに「宇宙を旅するパンダを描いてください」と入力して自動的に描かせた絵です。



Copilotのウィンドウに「〇〇を描いて」と入力するだけで絵を描けます。

このように、絵のセンスがなくても、描いてほしい絵を文章で入力するだけで絵を描けます。また、画像を入力して、その画像を編集・加工したり、もともと存在していなかった画像の背景を自動的に描いたりできる生成AIもあります。

Copilot	<a href="https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-copilot">https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-copilot</a>
Stable Diffusion	<a href="https://ja.stability.ai/stable-diffusion">https://ja.stability.ai/stable-diffusion</a>
Midjourney	<a href="https://www.midjourney.com/showcase">https://www.midjourney.com/showcase</a>

## 音声生成系

AIを使って人間の音声を作り出すタイプの生成AIです。文章を入力するとその文章を声で読み上げたり、既存の声のサンプルからそっくりの音声を作り出したり、ある音声を別の音声に変換したりするサービスもあります。



ReadSpeakerのホームページです。言語や声の種類を選択して、入力した文章を音声として再生することができます。

## 音楽生成系

自動的に音楽を作る生成AIです。「民謡とシティポップが融合した日本の和を感じさせる音楽」のようなテキストから音楽を作ったり、シンプルなメロディやリズムを入力して、それをもとに音楽を作ったりできます。ポップスやジャズ、クラシックなどのジャンル、パッハやマイケルジャクソンなどの音楽家を指定して、それに似た音楽を作ることもできます。



MusicFXはGoogleが作った音楽生成AI。日本語でテキスト入力すると音楽を自動的に作曲してくれます。

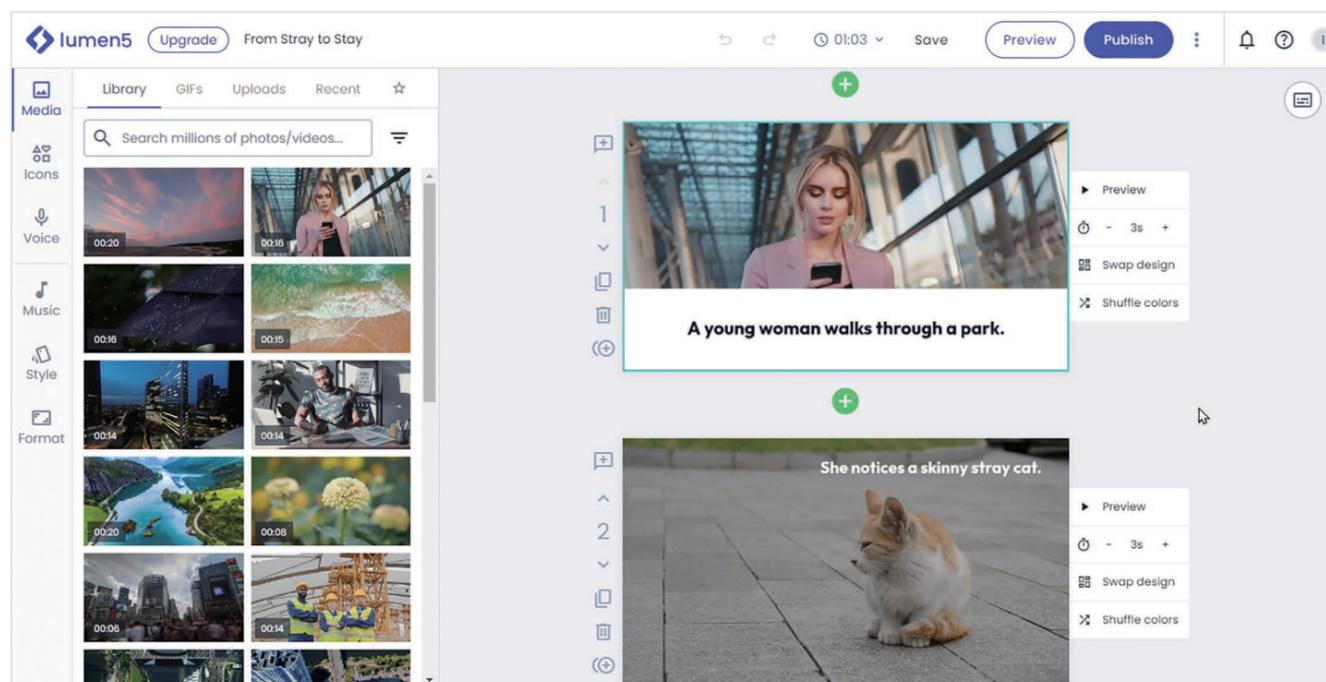
Amazon Polly	<a href="https://aws.amazon.com/jp/polly/">https://aws.amazon.com/jp/polly/</a>
Azure AI 音声	<a href="https://azure.microsoft.com/ja-jp/products/ai-services/ai-speech">https://azure.microsoft.com/ja-jp/products/ai-services/ai-speech</a>
Google Cloud Text-to-Speech	<a href="https://cloud.google.com/text-to-speech">https://cloud.google.com/text-to-speech</a>
ReadSpeaker	<a href="https://readspeaker.jp/">https://readspeaker.jp/</a>

MusicFX	<a href="https://aitestkitchen.withgoogle.com/ja/tools/music-fx">https://aitestkitchen.withgoogle.com/ja/tools/music-fx</a>
Jukebox	<a href="https://openai.com/index/jukebox/">https://openai.com/index/jukebox/</a>



## 動画生成系

自動的に動画を作る生成AIです。作りたい動画のシーンやシナリオ、元になる画像などを指定すると、自動的に動画を作ってくれます。



Lumen5で動画を生成しているところです。

## サービスの例

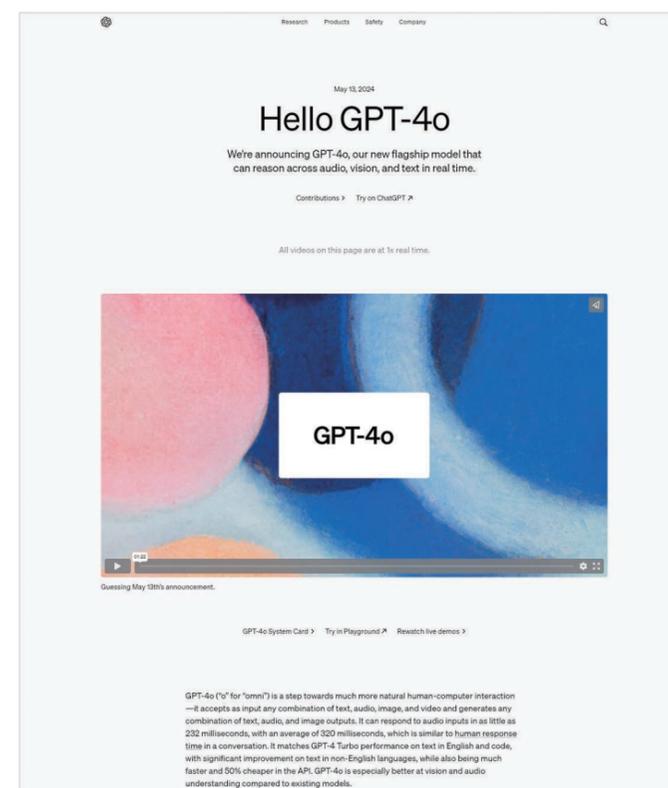
Lumen5 <https://lumen5.com/>

InVideo <https://invideo.io/>



## マルチモーダル系

テキスト・画像・音声・動画など複数の形式のデータを同時に処理して、同じくテキスト・画像・音声・動画の新しいコンテンツを生成できるタイプの生成AIです。1つの生成AIで、あらゆるタイプの生成AIと同じことができると考えるとよいでしょう。ChatGPTやGeminiなどの既存サービスも、徐々にマルチモーダル化が進んでいます。



OpenAIが開発したマルチモーダル生成AIであるGPT-4oの紹介ページ。人間のように感情表現したり、図形や映像を見てそれについて人間と会話したりする様子が動画で紹介されています。

## サービスの例

Chat-GPT4o

<https://openai.com/index/hello-gpt-4o/>



## AI PCとは

最近、生成AIを利用するのに最適化された「AI PC」という新しいジャンルのパソコンが登場しています。まだ厳格な定義はありませんが、CPUの他にAI処理を高速化するためのGPU(Graphics Processing Unit)やNPU(Neural network Processing Unit)を搭載したパソコンを指すことが多いようです。マイクロソフトの「Copilot+ PC」もAI PCの一種だと考えられます。AI PCが注目されている理由は、パソコンでAI処理することが増えたからです。たとえば、テレビ会議システムで人の顔を認識して顔を美しく見せたり、画面の中央に表示したりする機能などが、それにあたります。こうした処理をGPUだけで実行すると負荷が大きいため、GPUやNPUなどの専用チップに処理を分散することで、全体のパフォーマンスを上げることができます。



マイクロソフトの「Copilot+ PC」もAI PCの一種です。

## ビジネスパーソンが活用できる主な生成AIサービス

現在、生成AIのサービスは、OpenAIやGoogle、メタ(Meta)、マイクロソフトなど、世界中の大手企業が開発にしのぎを削っています。また、大手企業が開発したLLMやサービスを自社のサービスと組み合わせ、独自のサービスを開発する企業もたくさん登場しています。ここでは、主なサービスを紹介します。

### ChatGPT <https://chatgpt.com/>

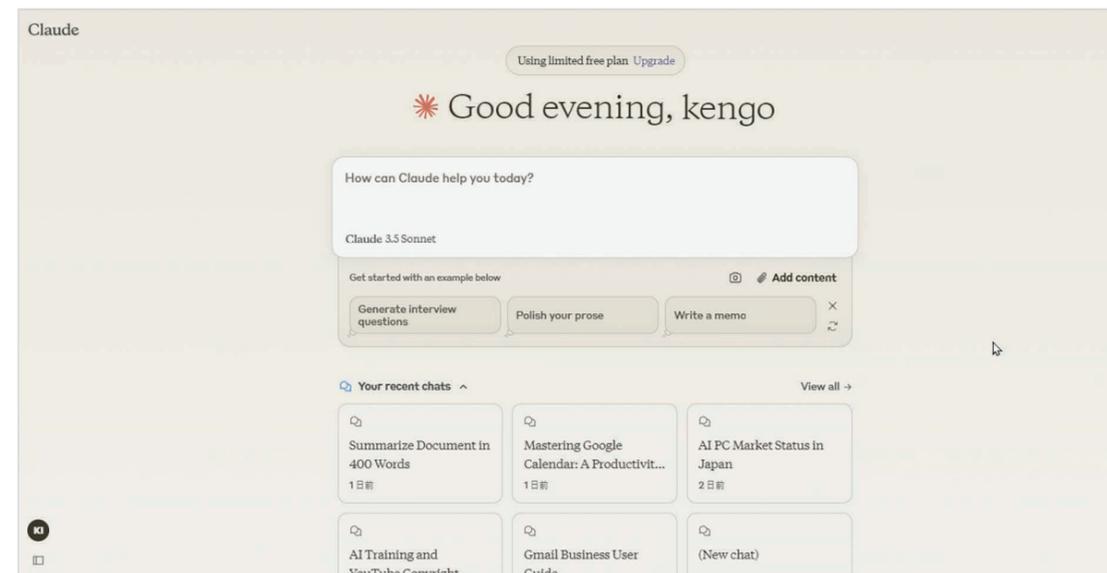
OpenAIが開発した生成AIのチャットサービスです。現在の生成AIブームの火付け役となりました。無料で使えるバージョンの他に、有料版も用意されています。有料版はより高速・高機能で、新しい機能をいち早く利用できるなどの特典があります。



ChatGPT

### Claude (クロード) <https://claude.ai/>

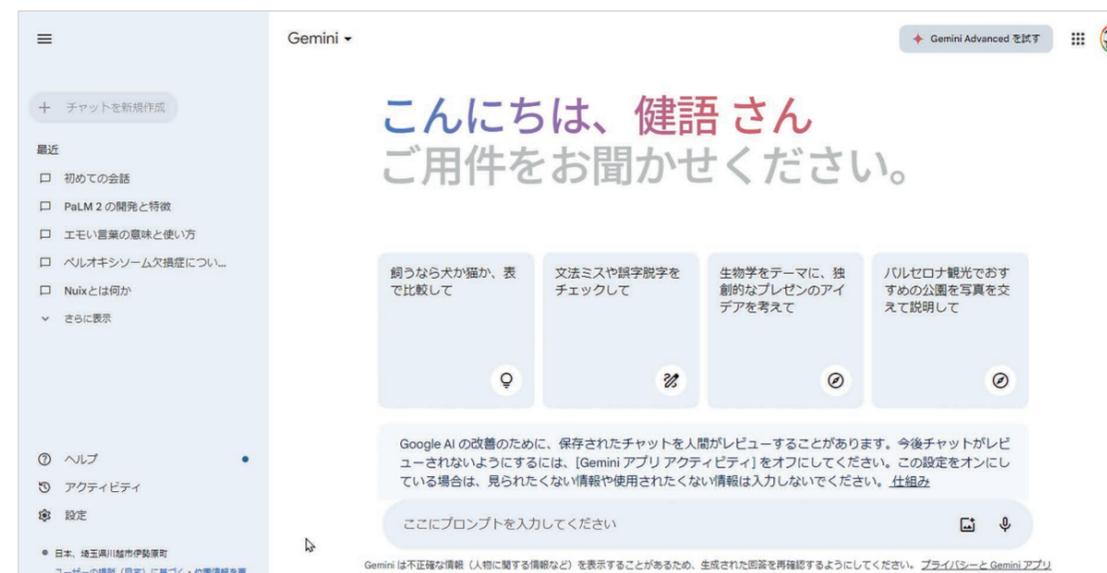
米国のAnthropic(アンソロピック)という企業が開発した生成AIのチャットサービスです。Anthropicは、もともとOpenAIに所属していた社員がOpenAIの方針に異を唱えて退社して設立した会社です。基本的な機能や使い方はChatGPTと同じですが、透明性が高く、倫理的配慮が高いといわれています。



Claude

### Gemini (ジェミニ) <https://gemini.google.com/app>

Googleが開発した大規模言語モデル(LLM)をベースにした生成AIサービスです。チャットができるだけでなく、画像や動画などの情報を理解して、それらを組み合わせた処理ができるマルチモーダル型のサービスへと進化しています。



Gemini

## Copilot (コパイロット)

<https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-copilot>

マイクロソフトが提供する生成AIサービスです。WindowsおよびWordやExcelなどのアプリケーションに組み込まれ、ユーザーの作業を支援します。たとえば、Windowsを利用中に生成AIとチャットしたり、テキストから画像を生成したりできます。また、Wordの文章を要約したり、ExcelのデータをCopilotで分析したりする機能も用意されています。



Windows 11に標準で用意されているCopilot

## Stable Diffusion (ステーブルディフュージョン)

<https://ja.stability.ai/stable-diffusion>

## Midjourney (ミッドジャーニー)

<https://www.midjourney.com/showcase>

Stable Diffusion、Midjourneyともにテキストから画像を生成できるサービスです。どちらも、以前は無料のサービスがありましたが、現在は有料になっています。なお、Midjourneyは「Discord (ディスコード)」(<https://discord.com/>)というチャットサービスから利用するため、Discordのアカウントが必要です。



Stable Diffusion

## Adobe Firefly (アドビファイアフライ)

<https://firefly.adobe.com/>

PhotoshopやIllustratorで知られるアドビが開発している画像生成系のサービスです。テキストから画像を生成するだけでなく、背景を自動的に生成したり、画像の一部を自動的に修復したりする機能も用意されています。また、よく知られたキャラクターや会社のロゴに似た画像が生成されないなど、著作権に抵触しない画像を生成することで、安心して利用できるように工夫されているのも特徴です。専用のサイトも用意されていますが、PhotoshopやIllustratorなどのツールにも機能が統合されています。



Adobe Firefly

## Perplexity (パープレキシティ)

<https://www.perplexity.ai/>

質問を入力すると、生成AIが回答を生成してくれるサービスです。インターネット上の最新の情報が検索可能で、回答の根拠となった情報源 (Webサイトのリンクなど) も明示されます。また、アカウント登録やログインが不要で、サイトにアクセスするだけですぐに利用できるのも特徴です (アカウントを登録して利用することも可能)。複数のLLMが利用されており、有料プランに切り替えると、より高性能なLLMが利用できます。



Perplexity



# Notta (ノッタ)

<https://app.notta.ai/>

音声や動画からテキストデータを作成するサービスです。会議やインタビューの録音データからテキストデータを作成したり、会議の内容をリアルタイムにテキスト化したりできます。多言語対応で、話者を聞き分けて別々にテキスト化できるなど、文字起こしに特化した便利な機能が用意されています。無料で利用できますが、テキスト化できる時間やデータ量に制限があります。有料版にすると、こうした制限が緩和されます。

なお、Nottaのような特定の目的・用途に特化した生成AIサービスは、他にもさまざまな種類があります。

ホーム

カレンダーと連携していません  
カレンダーと連携すると、カレンダー上の予定がNottaに表示されます。会議開始後Notta Botが自動入室してWeb会議の音声も録音・文字起こしします。

Googleカレンダーと連携する   Outlookカレンダーと連携する

録音開始  
インポート  
Web会議の文字起こし  
画面収録   ページ版

すべて   自分が作成者   自分以外が作成者

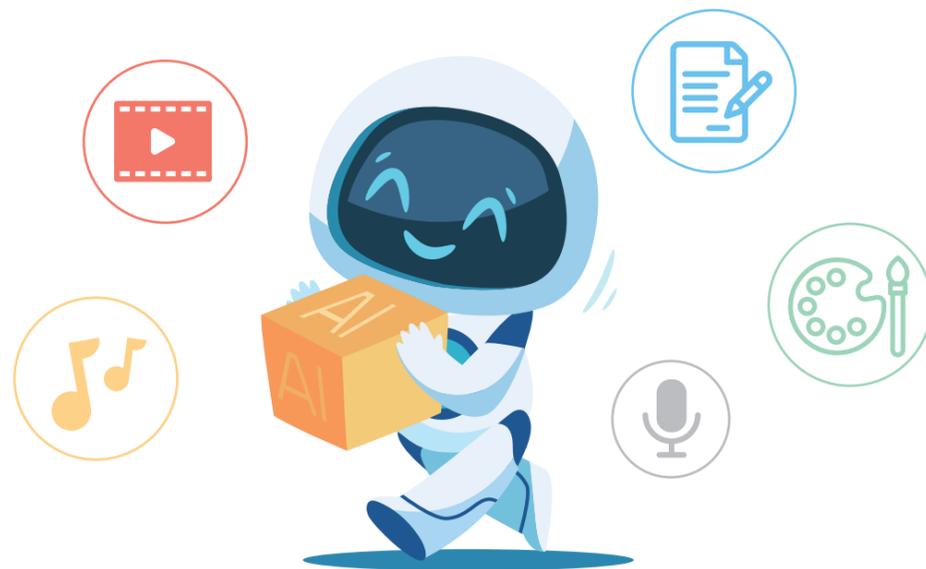
タイトル	作成者	作成日時
20240809_2 (16-02) 54分16秒	井上健語	2024/08/09 18:24
20240809_1 (14-44) 1時間4分31秒	井上健語	2024/08/09 18:24
編集取材音声・[ ] 連続]20240807	井上健語	2024/08/07 17:58
新規録音 119 59分58秒	井上健語	2024/08/07 17:35
240807_1301 1時間1分28秒	井上健語	2024/08/07 14:21

プレミアム  
使用済み: 512分 / 1,800分  
利用可能時間は2024/08/26 10:14にリセットされます  
使用状況を確認

ビジネスプランに登録

ビジネス機能:  
 チームでの共同利用  
 Web会議の録音  
 Salesforce連携  
 Zapier連携

Notta



## 生成AIのビジネスでの活用例

生成AIは、さまざまな分野で活用が期待されています。ここでは、特にビジネスで活用が進んでいるテキスト生成系の生成AIについて、具体的な使い方を紹介します。ここで紹介する以外にもさまざまな使い方があると思いますので、ぜひ、皆さんも考えてみてください。なお、例として紹介している画面は、ChatGPTまたはClaudeです。

### メールの文章を作成する

さまざまな条件を設定してメールの文章を生成させることができます。たとえば、4-1 は見積書の提出期日を守れそうにないので、少し伸ばしてもらえようというお願いするメールの文章を生成した例です。相手の会社名や担当者名、自分の名前などを入力すれば、そのまま使える文章が生成されていることが分かります。

4-1

見積書を依頼されているのですが、相手の希望日まで出せそうにありません。相手を不快にさせないように、期日を伸ばしてもらいたいことをお願いするメールの文面を考えてください。

以下のような文面はいかがでしょうか。

件名: 見積書の提出期限について

株式会社〇〇  
[相手の名前]様

いつもお世話になっております。[自社名]の[あなたの名前]です。

この度はお見積書のご依頼をいただき、誠にありがとうございます。現在、詳細な検討を進めておりますが、誠に申し訳ございませんが、[希望日]までにお見積書を作成・提出することが難しい状況です。

誠に恐縮ではございますが、提出期限を[新しい希望日]まで延ばしていただくことは可能でしょうか。お客様のご期待に沿えるよう、迅速かつ正確なお見積りを作成するために、少しお時間を頂戴できればと存じます。

ご不便をおかけし大変申し訳ございませんが、ご理解いただけますと幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

何かご不明点がございましたら、ご遠慮なくお知らせください。

敬具  
[あなたの名前]  
[あなたの連絡先]

このような文面で、相手への配慮を示しながら、提出期限の延長をお願いすることができます。

「見積書を依頼されているのですが、相手の希望日まで出せそうにありません。相手を不快にさせないように、期日を伸ばしてもらいたいことをお願いするメールの文面を考えてください」と指示した例です。

## キャッチコピーを作成する

文章や画像を指定して、そのキャッチコピーを考えさせることができます。たとえば、新製品の画像をアップロードして、「この製品を若者向けにアピールするキャッチコピーを10個考えて」といった指示を与えると、生成AIがキャッチコピーを考えてくれます。

たとえば **4-2** は、サテライトオフィスが発行しているGoogleカレンダーの小冊子の表紙画像をClaudeにアップロードし、ビジネスマンが読みたくなるようなキャッチコピーを考えさせた例です。

「ビジネスマンに向けて」「女性を対象に」など、条件を変えることでキャッチコピーも変化するので、さまざまなアイデアを出したいときは、とても効果的な使い方だと思います。

小冊子の表紙の画像をアップロードして、「これはサテライトオフィスから発行されたGoogleカレンダーの入門ガイドです。この本をビジネスマンに紹介するとき、読みたくなるような魅力的なキャッチコピーを10個考えてください」と入力してみました。


4-2

これはサテライトオフィスから発行されたGoogleカレンダーの入門ガイドです。この本をビジネスマンに紹介するとき、読みたくなるような魅力的なキャッチコピーを10個考えてください。

Googleカレンダーの入門ガイドを紹介するための魅力的なキャッチコピーを10個考えました：

1. "時間管理の達人になる！Googleカレンダーで仕事を効率化"
2. "デジタル時代の必須スキル：Googleカレンダーマスター講座"
3. "chaosからorderへ：Googleカレンダーで予定を完璧に管理"
4. "生産性アップの秘訣：Googleカレンダーを使いこなす"
5. "ビジネスの成功はスケジュール管理から：Googleカレンダー入門"
6. "時間を味方につける：Googleカレンダーであなたの1日を最適化"
7. "職場のヒーローになる：Googleカレンダーで仕事を革新"
8. "デジタルツールの王者：Googleカレンダーを完全攻略"
9. "仕事の効率化はこれで決まり：Googleカレンダー活用ガイド"
10. "時間管理のプロフェッショナルへ：Googleカレンダーであなたの可能性を解放"

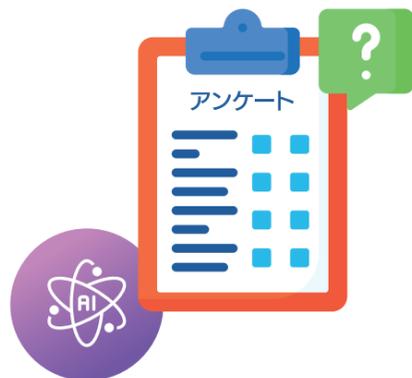
これらのキャッチコピーは、Googleカレンダーの習得が仕事の効率化や生産性向上につながることを強調し、ビジネスマンの興味を引くよう設計されています。

Copy Retry

Claude can make mistakes. Please double-check responses.

## アンケート項目を作成する

アンケートを実施するとき、必要な質問項目を生成AIに作成させることができます。たとえば **4-3** は、ECサイトの顧客満足度を調査するアンケートの質問項目を作成した例です。特定の製品やサービスについて調査したり、「10代の若者のパソコンの使い方」といったテーマで必要な質問項目を作成したりすることもできます。



「ECサイトの顧客満足度を調査します。アンケートの質問項目を挙げてください」と入力した例です。

4-3
ECサイトの顧客満足度を調査します。アンケートの質問項目を挙げてください

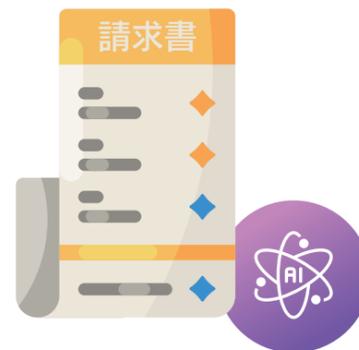
ECサイトの顧客満足度を調査するためのアンケート質問項目を以下に示します：

1. 基本情報
  - 性別
  - 年齢
  - 居住地域
  - ECサイトの利用頻度
2. 全体的な満足度
  - 当ECサイトでのショッピング体験に全体的にどのくらい満足していますか？
3. ウェブサイトの使いやすさ
  - サイトのデザインやレイアウトは使いやすいですか？
  - 検索機能やフィルタリング機能は十分に役立ちますか？
  - 商品情報や詳細は分かりやすいですか？
4. 購入プロセス
  - 商品の注文プロセスはスムーズでしたか？
  - 支払い方法の選択肢について満足していますか？
  - 注文確認や確認メールは迅速でしたか？
5. 配送と納期
  - 配送のスピードについて満足していますか？
  - 商品が適切に梱包されていましたか？
  - 配送状況の進捗情報は正確で役立ちましたか？
6. 商品品質
  - 届いた商品は説明通りでしたか？
  - 商品の品質についてどのように感じますか？
7. カスタマーサポート
  - カスタマーサポートへの対応についてどのくらい満足していますか？
  - 問い合わせへの返答は迅速で問題解決に役立ちましたか？
8. 価格
  - 商品の価格についてどのように感じますか？
  - サイトでのセールや割引は魅力的でしたか？
9. リピート意向
  - 今後もこのECサイトを利用したいと思いませんか？
  - 他の人にこのECサイトを勧めますか？
10. 改善点
  - ECサイトで改善が必要だと感じる点がありますか？
  - どのような改善があればより良いショッピング体験ができると思いますか？
11. 自由回答
  - その他、ご意見やご要望があればご記入ください。

これらの質問を通じて、ECサイトの強みや改善点を把握し、より良い顧客体験を提供するための情報を得ることができます。

## 請求書などのテンプレートを作る

請求書や領収書などのビジネスで多用する定型書類のテンプレートを作成できます。たとえば、**4-4** は原稿料の請求書を作成させた例です。このように、商品やサービスの種類を指定すれば、それに適した書類のテンプレートを作成してくれます。



4-4
原稿料の請求書のテンプレートを作成してください

以下は、原稿料の請求書のテンプレートです。必要に応じて、具体的な情報を追加して利用ください。

請求書

発行日: (発行日)  
請求書番号: (請求書番号)

請求先  
(会社名/氏名)  
(住所)  
(電話番号)  
(メールアドレス)

御社名/ご担当者様  
(御社名)  
(ご担当者様)

下記の通り、ご請求申し上げます。

項目	数量	単価	金額
原稿料	1	(単価円)	(金額円)

合計金額  
(合計金額円 (税込))

お振込先  
銀行名: (銀行名)  
支店名: (支店名)  
口座種別: (口座種別)  
口座番号: (口座番号)  
口座名義: (口座名義)

支払期限  
(支払期限日)

備考  
・お支払いは、請求書発行後(お支払い期限日)以内にお期し上げます。  
・何かご不明点がございましたら、ご連絡ください。

発行者情報  
(あなたの名前/会社名)  
(住所)  
(電話番号)  
(メールアドレス)

このテンプレートを使用し、必要な情報を入力することで、簡単に請求書を作成することができます。

「原稿料の請求書のテンプレートを作成してください」と指定した例です。

## スケジュールを作成する

生成AIに仕事の予定を伝えて、スケジュールを自動的に作成することができます。たとえば、**4-5** は埼玉県から福岡に出張する際のスケジュールを作った例です。与える情報を変更すれば、それに合わせてスケジュールを変更してくれます。たとえば、飛行機ではなく新幹線を指定すれば、それに合わせて調整してくれます。

「8月30日の13時から福岡で取材があります。取材時間は2時間ほどです。自宅は埼玉県の川越市ですが、前日から出かけて、取材日当日に帰宅する場合のスケジュールを作成してください」と指定してスケジュールを作成しました。

4-5
8月30日の13時から福岡で取材があります。取材時間は2時間ほどです。自宅は埼玉県の川越市ですが、前日から出かけて、取材日当日に帰宅する場合のスケジュールを作成してください

8月29日 (前日)

- 9:00 - 10:00: 自宅を出発、川越駅へ移動
- 10:30 - 12:00: 川越駅から羽田空港へ移動 (電車利用)
- 12:00 - 13:00: 羽田空港に到着、昼食および搭乗手続き
- 13:30 - 15:30: 羽田空港から福岡空港へ移動 (飛行機利用)
- 15:30 - 16:00: 福岡空港に到着、ホテルへ移動
- 16:30 - 17:00: ホテルにチェックイン
- 18:00 - 19:00: 夕食
- 19:00 - 22:00: 明日の取材準備、リラックスタイム

8月30日 (取材日)

- 9:00 - 10:00: 朝食
- 10:00 - 12:00: 取材準備、出発の準備
- 12:00 - 12:30: 取材現場へ移動
- 13:00 - 15:00: 取材
- 15:00 - 15:30: 取材後、福岡空港へ移動
- 16:00 - 17:00: 福岡空港に到着、搭乗手続き
- 17:30 - 19:30: 福岡空港から羽田空港へ移動 (飛行機利用)
- 19:30 - 20:30: 羽田空港から川越駅へ移動
- 21:00 - 22:00: 川越駅から自宅へ移動、帰宅

このスケジュールは、余裕を持った移動を想定しています。時間に余裕があれば、食事や休憩を取り入れてください。

## 人名を「姓」と「名」に分離する

生成AIには、さまざまな文字の処理を行わせることもできます。たとえば、「山田太郎」のように姓と名が連続している文字を「姓」と「名」に分離したり、人名や地名、固有名詞などにフリガナを付けたりすることもできます。ただし、地名や人名のフリガナは不正確な場合も多いので注意が必要です。

以下のように分けました：

- 山田, 太郎
- 井上, 浩一
- 森岡, 幸江
- 眞田, 洋子
- 鈴木, 一朗
- 上田, 正昭
- 森, 花江
- 三浦, 洋一
- 清水, 彦次郎
- 森本, 潤
- 河本, 聖子
- 杉田, 弘之

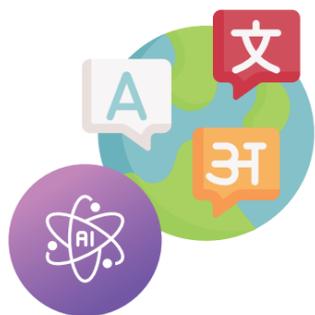
以下のように分けました：

- 山田, 太郎
- 井上, 浩一
- 森岡, 幸江
- 眞田, 洋子
- 鈴木, 一朗
- 上田, 正昭
- 森, 花江
- 三浦, 洋一
- 清水, 彦次郎
- 森本, 潤
- 河本, 聖子
- 杉田, 弘之

「以下の人名を姓と名に分けて、姓,名の形式で出力してください」と入力し、そのあとに人名のリストを入力して処理させた例です。姓と名が分離され、カンマで区切られて出力されています。

## 翻訳する

生成AIを使うと、指定した文章をさまざまな言語に翻訳することができます。たとえば、4-7 は日本語の文章を英語に翻訳したあと、続けて中国語に翻訳した例です。外国語の文章を読みたいとき、あるいは外国語のメールを作成したいときなどに便利です。



「次の文章を英語に翻訳してください」のあとに、翻訳する日本語の文章を指定して翻訳しました。続けて「中国語に翻訳してください」と入力すると中国語にも翻訳できます。

4-7

次の文章を英語に翻訳してください。

最近、AIを利用するのに最適化された「AI PC」という新しいジャンルのパソコンが登場しています。まだ厳格な定義はありませんが、CPUの他にAI処理を高速化するためのGPU（Graphics Processing Unit）やNPU（Neural network Processing Unit）を搭載したパソコンを指すことが多いようです。マイクロソフトの「Copilot+ PC」もAI PCの一種だと考えられます。AI PCが注目されている理由は、パソコン上でAI処理することが増えたからです。たとえば、テレビ会議システムで人の顔を認識して顔を美しく見せたり、画面の中央に表示したりする機能などが、それにあたります。こうした処理をCPUだけに実行させると負荷が大きいため、GPUやNPUなどの専用チップに処理を分散することで、全体のパフォーマンスを上げることができます。

Recently, a new genre of computers optimized for AI usage, known as "AI PCs," has emerged. While there is not yet a strict definition, these computers are often characterized by having a GPU (Graphics Processing Unit) or an NPU (Neural network Processing Unit) in addition to the CPU to accelerate AI processing. Microsoft's "Copilot+ PC" can be considered a type of AI PC. The reason AI PCs are gaining attention is due to the increasing demand for AI processing directly on the computer. For example, features like recognizing faces during video conferences to enhance appearance or keeping them centered on the screen fall into this category. Since relying solely on the CPU for such tasks can create a significant load, distributing the processing to dedicated chips like GPUs or NPUs can enhance overall performance.

中国語に翻訳してください

最近，出现了一种新型电脑，被称为“AI PC”，这种电脑专为利用AI优化而设计。虽然目前尚无严格定义，但通常指的是除了CPU之外，还配备了用于加速AI处理的GPU（图形处理单元）或NPU（神经网络处理单元）的电脑。微软的“Copilot+ PC”也被认为是一种AI PC。AI PC备受关注的的原因是电脑上进行的AI处理日益增多。例如，视频会议系统中可以识别人脸并美化其外观或将其保持在屏幕中央的功能就属于此类。由于仅依靠CPU执行这些处理任务负担较重，通过将处理分散到GPU或NPU等专用芯片上，可以提高整体性能。

## 要約する

生成AIを使って文章を要約することができます。「400文字以内で」のように文字数を指定すれば、その制限内で要約してくれます。たとえば 4-8 は、本書の「PART1 生成AIとは？」の文章全体をテキストファイルとしてアップロードして、400文字前後で要約した例です。このように、長い文章の内容を素早く把握したいとき便利な使い方です。

Claudeにテキストファイルをアップロードして、「添付した文書を400文字前後で要約してください」と指定して要約した例です。

4-8

要約のサンプル文書

添付した文書を400文字前後で要約してください。

はい、文書を400文字程度で要約いたします。

生成AIの代表格であるChatGPTは、2022年11月にOpenAIによってリリースされ、人間のよう自然な会話能力で世界に衝撃を与えました。その仕組みは、トランスフォーマーと呼ばれる技術を用いて、入力された文章の次に来る単語の確率を計算することで成り立っています。

ChatGPTの核となる大規模言語モデル（LLM）は、大量のテキストデータを学習して作られ、パラメータ数が多いほど性能が高いとされています。現在、OpenAI、Google、Meta、Anthropicなど多くの企業がLLMを開発し、競争が激化しています。

生成AIの登場は、IT業界だけでなく様々な分野に影響を与え、第三次AIブームと呼ばれる現象を引き起こしています。この技術革新により、私たちの仕事や生活スタイルが大きく変わろうとしています。

Copy Retry

Claude can make mistakes. Please double-check responses.

## ディベート/ブレインストーミング

「猛暑で売れる商品は？」「顧客満足度を向上させるには？」といった特定のテーマに沿ってアイデアを出したり、議論したりするときは、生成AIを利用すると便利です。一人で「壁打ち」することもできますし、複数人での議論中に生成AIを使うのも効果的です。議論が煮詰まったときなど、生成AIに問いかけると思わぬアイデアや情報が得られて、そこから再び議論が進むこともありますので、ぜひ積極的に活用してみてください。



TIPS

### すでにさまざまな業界・分野で活用されている生成AI

生成AIは、すでにさまざまな業界・分野で活用されています。たとえば、広告業界では新しい製品・サービスの広告画像、CMコピーなどの原案を生成AIで作成しています。製造業では生産機械のデータを解析して故障の前兆をとらえたり、欠陥や不良品をリアルタイムに検出したりする技術が開発されています。また、IT業界では、セキュリティ製品や顧客管理などのさまざまなシステムに生成AIが組み込まれて、機能の一部として提供されています。このように、生成AIは企業活動や毎日の生活の中に徐々に溶け込んでいき、意識することなく利用される“当たり前”の技術になると考えられています。



## 望ましい結果を得るためのプロンプトのコツ

「プロンプト」とは、生成AIに入力する文章や質問のことです。決まった形式があるわけではなく、基本的には人間に質問したり、指示したりするのと同じような文章を入力すれば大丈夫です。ただし、より品質の高い結果を得るためには、いくつかの"コツ"があります。ここでは、その"コツ"を紹介します。

### コツ ① 何をするかを明確に指示する

生成AIを利用するときは、何をすべきかを明確に指示することが大切です。たとえば、「次の文章を英語に翻訳してください」と入力して、続けて翻訳すべき文章を入力すれば、生成AIは **5-1** のように正しく翻訳してくれます。

#### 5-1

次の文章を英語に翻訳してください。  
プロンプトは、生成AIに入力する文章や質問のことです。決まった形式があるわけではなく、基本的には人間に質問したり、指示したりするのと同じような文章を入力すれば大丈夫です。ただし、より品質の高い結果を得るためには、いくつかの"コツ"があります。ここでは、その"コツ"を紹介します。

Here is the English translation of the text:

"A prompt is a sentence or question that you input into a generative AI. There is no fixed format, and basically, you can input sentences as if you were asking or instructing a human. However, there are some 'tips' to help you obtain higher-quality results. Here, we will introduce those 'tips'."

「次の文章を英語に翻訳してください」と生成AIに「翻訳する」ことを指示しています。

ある程度、曖昧な文章でも大丈夫です。たとえば、**5-2** は「次の文章をどう思う」と入力して、先ほどと同じ文章を入力した例です。人間なら、「どう思うと言われても……」と反応するかもしれませんが、生成AIはきちんと感想を返してくれます。

#### 5-2

次の文章をどう思う  
プロンプトは、生成AIに入力する文章や質問のことです。決まった形式があるわけではなく、基本的には人間に質問したり、指示したりするのと同じような文章を入力すれば大丈夫です。ただし、より品質の高い結果を得るためには、いくつかの"コツ"があります。ここでは、その"コツ"を紹介します。

この文章は非常に明確で、生成AIのプロンプトについて初心者にも説明するのに通じています。プロンプトに特定の形式が必要ないことや、自然な文章で指示できることを強調しており、AIを初めて使う人に安心感を与える内容です。

さらに、「品質の高い結果を得るためのコツ」を紹介すると言及しているため、読み手にとって有益な情報が続くことが期待されます。全体的に、親しみやすく、かつ実用的なガイドとして非常に良いと思います。

🗨️ 📄 🔄 🗑️ 🌟

「次の文章をどう思う」と曖昧な指示でも問題はありませぬ。

このように、AIに何をさせるのかを明確に指示することは、特にビジネスで生成AIを利用するうえでは重要なポイントとなります。ただし、「今日は何となく気が重い」「会社に行きたくない」など、明確な指示のないプロンプトに対しても、生成AIは人間のような回答を返します。何となく雑談をしたいときや、生成AIを相手にアイデアを考える"壁打ち"をしたいときなどは、こうしたやりとりも意味があると思います。

今日は何となく気が重い

🗨️ 気が重いと感じるときは、心が何かに疲れているのかもしれない。何が原因分かっていますか？または、何か話したいことがあればお聞かせください。

明日は試験があるんだ

🗨️ メモリを更新しました  
それが原因で気が重いですね。試験は緊張するものですが、少しでもリラックスできる方法を見つけられるといいですね。準備は進んでいますか？何かアドバイスやサポートが必要なら教えてください。

🗨️ 📄 🔄 🗑️ 🌟

「今日は何となく気が重い」といった明確な指示のないプロンプトで会話を続けることも可能です。

### コツ ② 文脈(コンテキスト)を指定する

文脈(コンテキスト)とは、生成AIがタスクを実行する背景情報や前提条件のことです。文脈を指定することで、生成AIはその文脈に沿った回答を返します。

たとえば、「あなたは小学校の先生です」「あなたはプロの経営者です」といった前提条件を与えて質問すれば、生成AIは、その前提に立って回答を返します。たとえば **5-4** は「あなたは小学校の先生です。イーロンマスクはどんな人か、生徒に分かるように説明してください」と入力した結果です。

#### 5-4

あなたは小学校の先生です。イーロンマスクはどんな人か、生徒に分かるように説明してください

🗨️ みんな、イーロン・マスクって知ってる？彼はとっても特別な人なんだよ。イーロン・マスクは、すごい発明家で、未来を考えている人なんだ。

例えば、彼は電気で動く車を作った「テスラ」という会社を作ったんだ。これで、車がガソリンを使わずに走るようになったの。地球に優しいんだね。

それから、「スペースX」という会社も作って、ロケットを使って宇宙に行くことに挑戦しているんだ。彼の夢は、いつか火星に人が住めるようにすることなんだよ。

だから、イーロン・マスクは新しいアイデアや夢を持って、どんどん世界を変えていこうとしている人なんだ。すごいね！

「あなたは小学校の先生です。イーロンマスクはどんな人か、生徒に分かるように説明してください」と入力しました。

また、テキスト生成系の生成AIは、前のやりとりを記憶して、それを前提に回答を返します。

たとえば、5-5 は「ChatGPTを作った会社はどこですか?」と質問し、そのあとで「社長は誰?」と聞いています。2番目の質問では会社は指定していませんが、前の質問を前提としているので、正しく回答されています。

5-5

ChatGPTを作った会社はどこですか?

ChatGPTを作ったのはOpenAIという会社です。OpenAIは、人工知能の研究と開発を行っている企業で、AI技術の進化とその倫理的な使用を推進しています。

社長は誰?

OpenAIのCEOはサム・アルトマン (Sam Altman) です。彼はOpenAIの設立メンバーであり、以前はY Combinatorのプレジデントとしても知られています。

「ChatGPTを作った会社はどこですか?」と質問し、そのあとで「社長は誰?」と聞きました。

なお、以前の情報を破棄したうえで回答させたいときは、「以前の情報はリセットしてください」と入力すれば大丈夫です。ChatGPTの場合は、「メモリを更新しました」と表示されて情報がリセットされます。5-6 は、その様子を示したものです。

5-6

OpenAIのCEOはサム・アルトマン (Sam Altman) です。彼はOpenAIの設立メンバーであり、以前はY Combinatorのプレジデントとしても知られています。

以前の情報はリセットしてください

メモリを更新しました  
了解しました。何か他にお手伝いできることがあれば教えてくださいね。

社長は誰?

OpenAIのCEOはサム・アルトマン (Sam Altman) です。

覚えてるじゃん

すみません、その通りです。リセットの指示が少し混乱してしまいました。情報が必要なときはいつでもお知らせください!

「以前の情報はリセットしてください」と入力して、「社長は誰?」と質問した結果です。リセットされた……はずですが、少し違った結果になってしまいました。

## 3 入力データを指定する

生成AIに処理してもらいたいデータがある場合は、そのデータを指定しましょう。たとえば、先の例では「次の文章を英語に翻訳してください」と入力して、そのあとに翻訳する文章を指定しています。

その他に、WordやExcelなどのファイルを指定して「添付したファイルを要約してください」、画像ファイルを指定して「この画像について説明してください」といった使い方もできます(5-7、5-8)。

5-7



この絵について、400文字で説明してください

この絵は、レオナルド・ダ・ヴィンチの最も有名な作品「モナ・リザ」です。16世紀初頭に描かれたこの肖像画は、芸術史上最も知られ、議論を呼ぶ作品の一つです。

画面中央には、優雅な姿勢で座る女性が描かれています。彼女は黒い衣装を着て、胸の前で手を組んでいます。最も印象的なのは、彼女の微妙な表情、特に謎めいた微笑みです。この「モナ・リザの微笑み」は、何世紀にもわたって観る者を魅了し続けてきました。

背景には、幻想的な風景が広がっています。遠くには霞んだ山々が見え、近景には曲がりくねった道や小川が描かれています。この風景は現実と想像の融合を感じさせます。

ダ・ヴィンチの画法、特にスフマット技法の使用により、輪郭線が柔らかく溶け込み、全体に霞がかかったような雰囲気生まれています。この技法は、光と影の微妙な変化を表現するのに効果的です。

「モナ・リザ」は、その芸術的価値、技術的革新性、そして謎めいた魅力により、世界中で愛され続けている傑作です。

モナリザの画像ファイルを指定して、「この絵について400文字で説明してください」と指示した例です。

5-8



添付した文書を400文字以内で要約してください

この文書は、ビジネスパーソン向けのGmail利用ガイドです。主な内容は以下の通りです:

- Gmailの基本機能と画面構成の説明
- メールの受信、送信、返信、転送などの基本操作方法
- 検索、スヌーズ、アーカイブ、迷惑メール設定などの便利機能の使い方
- ToDoリストとの連携や送信予約などの高度な機能の活用法
- テーマ設定やメール表示件数の変更などのカスタマイズ方法
- スマートフォン/タブレット用Gmailアプリの紹介

文書全体を通して、ビジネスでGmailを効率的に使用するためのTipsや注意点が豊富に盛り込まれています。初心者から上級者まで幅広いユーザーに役立つ内容となっています。

テキストファイルを指定して、「添付した文書を400文字以内で要約してください」と指示した例です。

なお、ChatGPTやClaudeなどの無料バージョンでは、ファイルをアップロードできなかったり、アップロードできるファイルのサイズや数に制限がある場合があります。制限なく利用するには、有料版を利用するか、PART7で紹介しているサテライトオフィスの各種サービスをおすすめします。

## 4 出力形式を指定する

生成AIでは、どのような形式で回答するかを指定することができます。たとえば、「5つのポイントで」「表形式で」「400文字以内で」のように指定すれば、その形式で回答が生成されます。

たとえば、5-9は「坂本龍馬と西郷隆盛の接点に分かる歴史上の出来事を年表形式でまとめてください」と入力した例です。

**5-9** 坂本龍馬と西郷隆盛の接点に分かる歴史上の出来事を年表形式でまとめてください

坂本龍馬と西郷隆盛の接点に分かる歴史上の出来事を年表形式でまとめました。

**坂本龍馬と西郷隆盛の年表**

年月	出来事	詳細
1862年	西郷隆盛、薩摩藩の命により江戸へ	西郷は薩摩藩の代表として江戸に赴き、幕府との交渉を担当。坂本龍馬と直接の関わりはまだないが、薩摩藩の動きが重要になる。
1864年6月	坂本龍馬、長州藩に接近	坂本龍馬が長州藩と接触を開始し、薩摩藩との連携を模索。西郷隆盛はこの時期、薩摩藩内での影響力を強めつつある。
1866年1月	薩長同盟成立	坂本龍馬が薩長同盟の仲介役を務め、薩摩藩の西郷隆盛や小松藩と、長州藩の桂小五郎（木戸孝允）が協議。これにより、薩摩と長州が手を組むことになった。
1867年10月	坂本龍馬、船中八策を起草	坂本龍馬が討幕運動のための基本方針「船中八策」を起草し、西郷隆盛を含む薩摩の志士たちと共有。この時期、二人は幕府打倒に向けて連携を強化。
1867年11月15日	坂本龍馬、暗殺される	坂本龍馬が京都で暗殺される。西郷隆盛は彼の死を悼みつつ、討幕運動を続ける決意を固めた。
1868年1月	戊辰戦争開始	西郷隆盛が薩摩藩の指揮官として戊辰戦争を指導。この戦争は、坂本龍馬が推進した討幕運動の一環として展開された。

この年表から、坂本龍馬と西郷隆盛が主に1866年の薩長同盟の成立を通じて接点を持ち、その後の討幕運動においても協力関係にあったことが分かります。

「坂本龍馬と西郷隆盛の接点に分かる歴史上の出来事を年表形式でまとめてください」と入力しました。

また、「関西弁で」「中学生にも分かるように」……のように、文章のテイストや難易度を指定することも可能です。たとえば、5-10は「坂本龍馬の歴史上の業績を、関西弁で400文字以内で説明してください」と入力した例です。

**5-10** 坂本龍馬の歴史上の業績を、関西弁で400文字以内で説明してください

坂本龍馬ちゅうんは、幕末の日本を大きく動かした立役者やで。まず、薩長同盟ちゅうもんを実現させたんが彼の一番の功績や。薩摩と長州って、当時は敵対してたやけど、龍馬が仲介して、手え組むようにしたんや。これが、後の明治維新に繋がるんやから、ほんまにすごいわな。

それに、彼は「船中八策」ちゅう日本の未来を描いたプランを考えたんや。これが、今の日本の政治システムの元になってるとも言われとる。ほんで、貿易にも積極的やったんや。日本初の商社「亀山社中」を立ち上げて、武器やら船を調達して、日本の近代化に貢献したんやで。

要するに、坂本龍馬は、武士やのに新しい時代を作ろうとした改革者やったんや。彼のおかげで、今の日本があると書いても過言やないで。

「坂本龍馬の歴史上の業績を、関西弁で400文字以内で説明してください」と入力した例です。きちんと関西弁で回答されています。



### TIPS プロンプトエンジニアとは？

生成AIに入力する文章や質問を「プロンプト」と呼び、効果的なプロンプトを作って生成AIから効果的に回答を引き出す技術を「プロンプティング」と呼びます。また、プロンプティングの高度な技術を身に付けたエンジニアのことを「プロンプトエンジニア」と呼ぶ場合があります。

## 知っておきたい生成AIのリスクと課題

生成AIによって便利なサービスが次々と生まれていますが、一方で、さまざまなリスク・課題も指摘されています。生成AIサービスを利用するときは、こうしたリスク・課題があることも十分認識しておく必要があります。

### ハルシネーション

「ハルシネーション」とは「幻覚」の意味で、生成AIが事実に基づかない虚偽の情報をもっともらしく出力する現象を指します。たとえば、6-1はChatGPTに「西日本で最も高い山は？」と質問した回答です。ChatGPTは「大山(1729メートル)」と回答していますが、実際には愛媛県の石鎚山(1982メートル)のほうが標高が高いため、ChatGPTの回答は誤りです。

**6-1** 西日本で最も高い山は？

西日本で最も高い山は、鳥取県と岡山県の境に位置する\*\*大山（だいせん）\*\*です。標高は1,729メートルで、中国地方の最高峰でもあります。この山は古くから信仰の対象とされており、美しい自然景観と豊かな生態系で知られています。

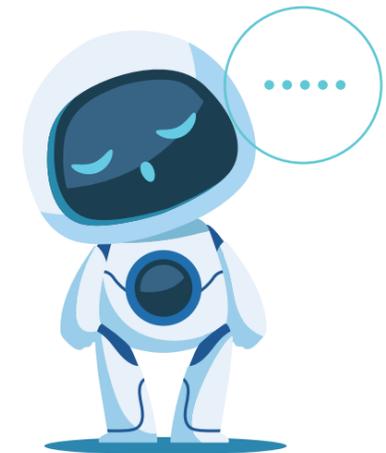
あれ、石鎚山ではないの？

おっしゃる通り、正しくは\*\*石鎚山（いしづちさん）\*\*です。石鎚山は四国地方の愛媛県に位置し、標高は1,982メートルで、西日本の最高峰です。この山は日本百名山の一つで、信仰の山としても有名です。訂正とお知らせありがとうございます。

ChatGPTに「西日本で最も高い山は？」と質問した結果です。大山と回答したので、「あれ、石鎚山ではないの？」と聞いたら、すぐに訂正されました。

このように、誤った結果を返す現象がハルシネーションです。原因としては、学習データの偏りなどが指摘されていますが、現時点ではハルシネーションを100%防ぐことはできないとされています。

したがって、生成AIの回答をそのまま鵜呑みにするのではなく、別の生成AIの結果と比較したり、回答の引用元の情報を確認したりすることが重要になります。



## 著作権

生成AIでは、インターネット上に公開されている記事やブログ、雑誌や書籍、論文などの文字情報、画像、動画などの膨大なデータを学習させてモデルを作ります。

その中には、あなたがブログで書いた記事や描いたイラストが含まれているかもしれません。したがって、そのモデルから出力された結果には、間接的にあなたの書いた文字やイラストの情報が使われている可能性があります。

従来であれば、人が書いた文章やイラストをそのまま使ったら、著作権侵害になります。しかし、生成AIはそのあたりがグレーなのが現実であり、法律の整備も含めて議論・検討が行われている段階です。

企業における問題は、特に画像を考えると分かりやすいと思います。たとえば、自社ブランドの画像が勝手に学習に使われた結果、「似た画像」が生成されて大量に出回ったとしたら、ブランドが毀損されてしまうでしょう。

逆に、生成AIで出力した画像を自社の広告で使用したら、その画像に他社の製品やブランドに似た画像が含まれていた、という事態もありません。この場合、他社から訴えられるリスクがあります。

また、最近では「声」の著作権も問題になっています。特定の人物の音声を簡単に再現できるため、広告等で使用した音声特定の人物の声とそっくりになって、あとで問題になる可能性はゼロではありません。

このように、ビジネスで生成AIを活用する際には、著作権に関するさまざまなリスクに注意する必要があります。



TIPS

## アドビのFireflyのアプローチ

IllustratorやPhotoshopなどの画像編集ツールで有名なアドビは、Fireflyという画像生成系の生成AIを開発し、自社のツールに組み込んでいます。Fireflyでは、あらかじめ許諾をとった画像だけを学習データとして使用することで、著作権侵害のリスクを低減しています。このため、Fireflyで生成した画像は安心して利用されています。



## 情報漏洩

企業においては、個人情報や社内の機密情報が漏洩する可能性があることも、生成AIを利用するリスクです。特に入力した文章やアップロードしたファイルが生成AIの学習に利用される可能性については、十分に注意する必要があります。

たとえば、発売前の製品に関する会議の音声を生成AIにアップロードしてテキスト化したとします。その際、議事録に含まれている新製品の名前や価格などが生成AIに学習されたら、機密情報の漏洩が起きる可能性があります。

生成AIサービスによっては、入力された質問やアップロードされたファイルを学習に使用しないと規約に明記されていますが、そうでないサービスもあるので注意が必要です。

また、そもそも生成AIサービスの多くはクラウドサービスですので、機密情報や個人情報などを社外のクラウドに送信すること自体、社内のセキュリティポリシーに違反する可能性もあります。

なお、サテライトオフィスでは、こうしたリスクを低減するために、個人情報を生成AIに送信できないようにしたり、禁止ワードを設定したりできる生成AIサービスを開発・提供しています。詳細は「PART7 サテライトオフィスが提供する生成AIサービス」を参照してください。



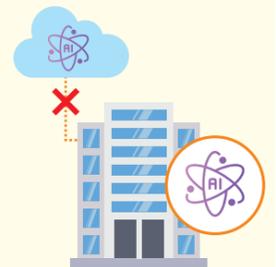
サテライトオフィスの生成AIサービスの1つである「サテライトAI・AIボード」。ChatGPTやGeminiなどの生成AIを利用する際に、入力した文章を学習させなくしたり、個人情報や機密情報の入力を禁止したりできます。



TIPS

## 社内で生成AIを使う

生成AIのサービスは、ほとんどがクラウドで提供されます。巨大なAIモデルを用いて高速に処理するため、大量のコンピュータリソースを必要とするからです。しかし、情報漏洩やセキュリティの観点から、ローカル環境で生成AIを活用したいというニーズも出てきています。このため、最近ではより小さいAIモデルで、より少ないコンピュータリソースで生成AIをローカルで実行できるサービスやツールも登場しつつあります。



## AI倫理、フェイクニュース、サイバー攻撃、オレオレ詐欺……等々

生成AIは膨大なデータを学習させてモデルを構築します。このため、学習に使用したデータに何らかの問題や偏りがあると、それが生成AIの回答に影響を与えます。たとえば、学習データに差別的なコンテンツが含まれていると、生成されるコンテンツにも差別的な内容が含まれることがあります。

また、生成AIは非常にリアルな画像や音声、動画を生成できるので、偽情報やフェイクニュースを簡単に作ることができます。たとえば、2023年5月には、「米国防総省の本庁舎（ペンタゴン）付近で爆発があった」とするフェイク画像がSNSで拡散され、米国の株価が一時下落する事態が起きました。

このように、何らかの目的を持つユーザーが、意図的に偽情報やフェイクニュースを流し、経済的な利益を得ようとしたり、社会的な混乱を引き起こしたりすることは十分考えられます。

フェイクニュースを防ぐには、偽情報を見破る技術開発だけでなく、偽情報を流すことに罰則を設けるといった法的な対応も必要になるでしょう。さらに、そうしたことをしない、偽情報やフェイクニュースにだまされないための啓蒙活動や教育も重要になります。

なお、生成AIによって、サイバー攻撃や通常の詐欺行為も巧妙化すると考えられています。生成AIを使えば、さまざまな言語で相手をだますスパムメール（詐欺メール）を簡単に作れるからです。また、他人の声になりますこともできるので、電話で高齢者をだますオレオレ詐欺も、より危険になる可能性があります。

## 最新情報は検索できない

生成AIのモデルを作成するときは、インターネット上のテキストや画像、動画など、膨大なデータを学習させます。したがって、学習に使用されていない最新ニュースなどの情報は持っていません。たとえば、ChatGPTで学習に使用されているのは、次のようなデータです。

GPT-3.5	2021年9月までのデータ
GPT-4	2022年1月までのデータ

ところが、実際にはChatGPTに「明日の新宿の天気は？」と聞いたら、きちんと答えてくれます（**6-3**）。

### 6-3

明日の新宿の天気は？

4件のサイトを検索しました

明日8月20日の新宿の天気は、気温が最高約34°C、最低約26°Cで、暑い一日になりそうです。日中は曇りがちで、午後には一時的に雨が降る可能性があります。温度も高く、蒸し暑さを感じるでしょう（和風天气）(Sharp Weather)。

🔊 📄 🔄 🗑️ 🌟

「明日の新宿の天気は？」と質問したら、最新の天気情報を回答してくれます。

これは、生成AIが、自分が持っていない情報を外部のWebサイトなどから自動的に収集して統合して回答するからです。

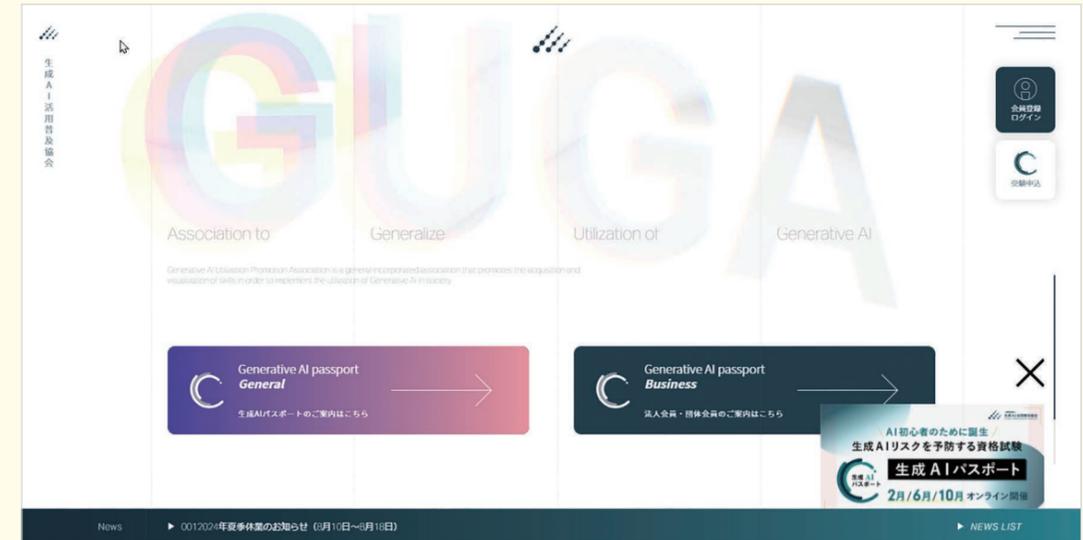
このように、自分が持っていない情報を取り込んで回答するには、いくつかの方法がありますが、その1つがRAGです。RAGは「Retrieval-Augmented Generation」の略で、生成AIに外部の情報を取り込んで回答を生成するアプローチです。

なお、RAGを利用することで生成AIが持っていない社内情報などを統合して、生成AIに回答させることも可能です。これにより、企業の製品やサービスについて回答できる独自の生成AIサービスを構築することも可能です。40ページで紹介している「サテライトAI・社内ドキュメントRAG学習 データ作成SDK」を利用すれば、このような独自の生成AIを作成できますので、ぜひ試してみてください。



## 生成AIパスポート試験

生成AIが急速に普及していることを受けて、エンジニアではない一般のビジネスパーソンも、生成AIを使う機会が増えてきました。そこで、生成AIを効果的に利用する際に求められる一般的な知識・スキルを評価する目的で、一般社団法人 生成AI活用普及協会(GUGA) (<https://guga.or.jp/>)という団体が、「生成AIパスポート試験」という資格試験を実施しています。社内等で生成AI活用を推進する際の1つの指標として活用できると思いますので、興味があれば、受検してみてください。



生成AIパスポート試験を実施している一般社団法人 生成AI活用普及協会(GUGA)のホームページ (<https://guga.or.jp/>)



## サテライトオフィスが提供する生成AIサービス

サテライトオフィスでは、「Sateraito.AI」のブランドでさまざまな生成AIサービスを開発・提供しています。ここでは、主なサービスを紹介しします。なお、生成AIは進化が激しいため、サービスの機能はつねに進化しています。また、ここでは紹介していない新しいサービスも次々と開発されていますので、最新の情報は、以下のSateraito.AIのホームページを参照してください。

 **Sateraito.AIのホームページ**  
[https://www.sateraito.jp/sateraito\\_AI/](https://www.sateraito.jp/sateraito_AI/)



## サテライトAI・AIボード



**概要** ChatGPTと同様にテキストでさまざまな質問ができるサービスです。LLMとして、GPT-3.5-Turbo、GPT-4-Turbo、Azure OpenAI系、Google Geminiなどを選択できます。最大の特徴は、企業で安心して利用できるように、次のようなセキュリティ機能が提供されていることです。

- 質問内容を生成AIに学習させない
- 社内で利用できるユーザーを限定できる
- AIへの質問で禁止ワードを設定できる
- 不適切発言を排除できる

一般の生成AIでは、質問した内容が生成AIの運営企業に送信され、生成AIの学習に利用される可能性があります。このため、質問内容に個人情報や社外秘の情報が含まれていると、その情報が漏洩するリスクがあります。

一方、サテライトAI・AIボードは、生成AIに質問を学習させないことが可能なので、その心配がありません。また、利用できるユーザーの制限、禁止ワードの登録、ハラスメントやヘイト、暴力的な不適切な発言を排除する機能も用意されています。

その他にも、次のような特徴を備えています。

1. 音声での入力、音声での出力が可能
2. プロンプトを保存できる
3. ログの保存とログの全文検索が可能

サテライトAI・AIボード。質問した内容を生成AIに学習させないことが可能で、禁止ワードも設定できます。

さまざまなプロンプトのテンプレートも用意されています。

### サテライトAI・AIボード2



**概要** サテライトAI・AIボードのユーザーインターフェイスを、GmailやOutlookなどのメール形式にしたサービスです。ユーザーインターフェイス、デザインが異なるだけで、基本的な機能は「サテライトAI・AIボード」と共通です。

**概要** なお、ボードをフォルダに分けて管理する機能、アーカイブ機能など、メールソフトと同様にボードを管理できる独自の機能も用意されています。



サテライトAI・AIボード2。サテライトAI・AIボードと機能は共通で、GmailやOutlookなどのメール形式のユーザーインターフェイスを持つサービスです。

### サテライトAI・社内チャットAI



**概要** 企業利用チャット(Google Chat、Teams、LINE WORKS、Slack、Chatwork)から、ChatGPTに問い合わせができるサービスです。特徴は次のとおりです。

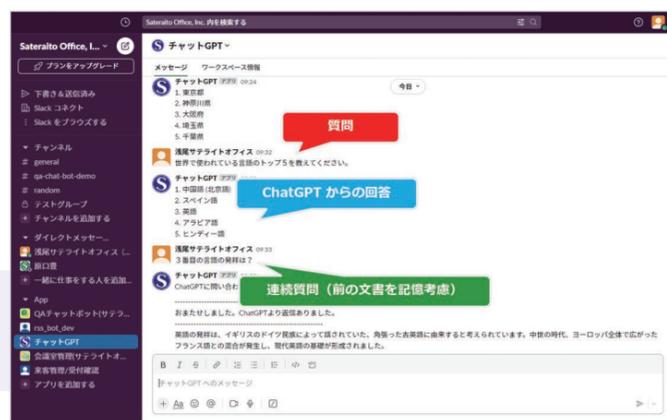
1. いつも利用しているチャットツールを使ってChatGPTを利用できる。
2. 入力データをAI側に学習させないことが可能(禁止ワードも設定可能)。
3. 利用できるユーザーを限定できる。
4. ユーザーとChatGPTとのやりとりのログを取得・保存できる。

なお、導入するには、既存チャットツールの管理者画面での設定が必要になります。詳しくは、サテライトオフィスの導入サポート(cs@sateraito.co.jp)までご連絡ください。



サテライトAI・社内チャットAIの仕組み

たとえば、Slackからチャットボット経由でChatGPTに問い合わせできます。



### サテライトAI・社内ポータルAI



**概要** ChatGPTが利用できる社内ポータルサイトの構築サービスです。ポータルサイトの右下にボタンが用意され、クリックするとウィンドウが開いてChatGPTに質問することができます。

**概要** 本サービスの特徴は、社内ポータル上にある社外に公開していないさまざまな情報を使ってChatGPTを利用できることです。たとえば、サイト内のテキストを選択して、それについてChatGPTに質問したり、マニュアルや議事録などのファイルを使ってChatGPTに問い合わせたりできます。

なお、管理者画面で禁止ワードの設定やログの確認も可能で、ChatGPTの有効/無効を切り替えることもできます。



サテライトAI・社内ポータルAI。右下のボタンをクリックしてChatGPTに質問ができます。



社内情報を利用してChatGPTに問い合わせできるのが特徴です。

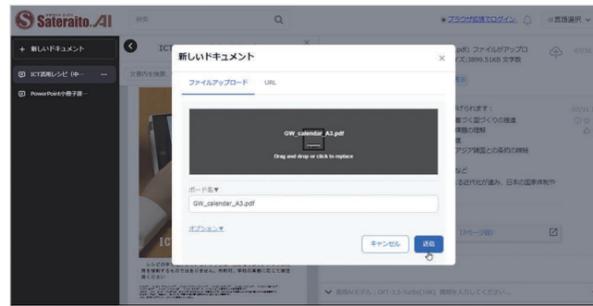
### サテライトAI・AIDキュメント



**概要** ファイルをアップロードしたら、ChatGPTにその内容を質問したり、要約したりできるようになるサービスです。マニュアルや論文、レポート等をアップロードすると、知りたい情報を素早く調べることができます。

**概要** 対応しているファイルは、Word、Excel、PowerPointのファイル、PDFファイル、テキストファイルです。なお、アップロードしたファイルは自動的にPDF化されます。

ファイルを指定してアップロードします。



ファイルがPDF化されて左側にプレビューされ、右側でファイルの内容について質問することができます。



## サテライトAI・AIメール



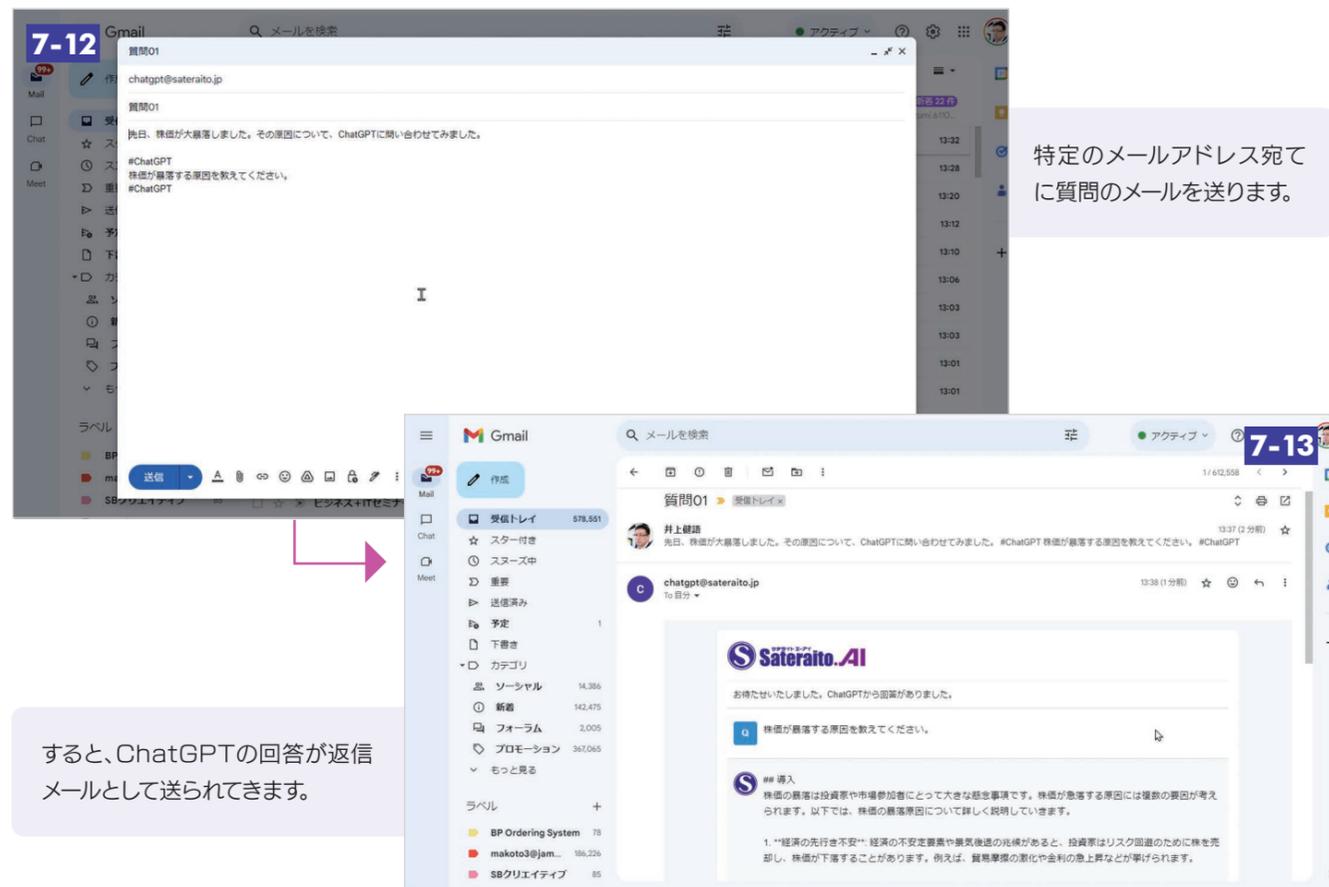
**概要** 特定のメールアドレスに質問を書いたメールを送ると、ChatGPTによる回答が返信メールとして届くサービスです。たとえば、CCやBCCに関連するメンバーのアドレスを指定しておくことで、回答メールが全員に届くので、メンバー全員で情報を共有することができます。なお、ChatGPTへの質問は、メール本文で次のように「#ChatGPT」というタグで囲んで指定します。

**【メールの例】** 先日、株価が大暴落しました。その原因について、ChatGPTに問い合わせしてみました。



#ChatGPT  
株価が暴落する原因を教えてください。  
#ChatGPT

すると、30秒～1分程度で返信メールが返ってきます（7-12、7-13）。



すると、ChatGPTの回答が返信メールとして送られてきます。

なお、サテライトオフィスでは、体験用のメールアドレスとして「chatgpt@sateraito.jp」を用意しています。このアドレスに質問メールを送信すると、ChatGPTの回答を含む返信メールが送られてきます。

本サービスを正式に導入する際には、このメールアドレスは企業が指定したメールアドレスとなります。



サテライトAI・AIメールの仕組み

## サテライトAI・議事録作成AI



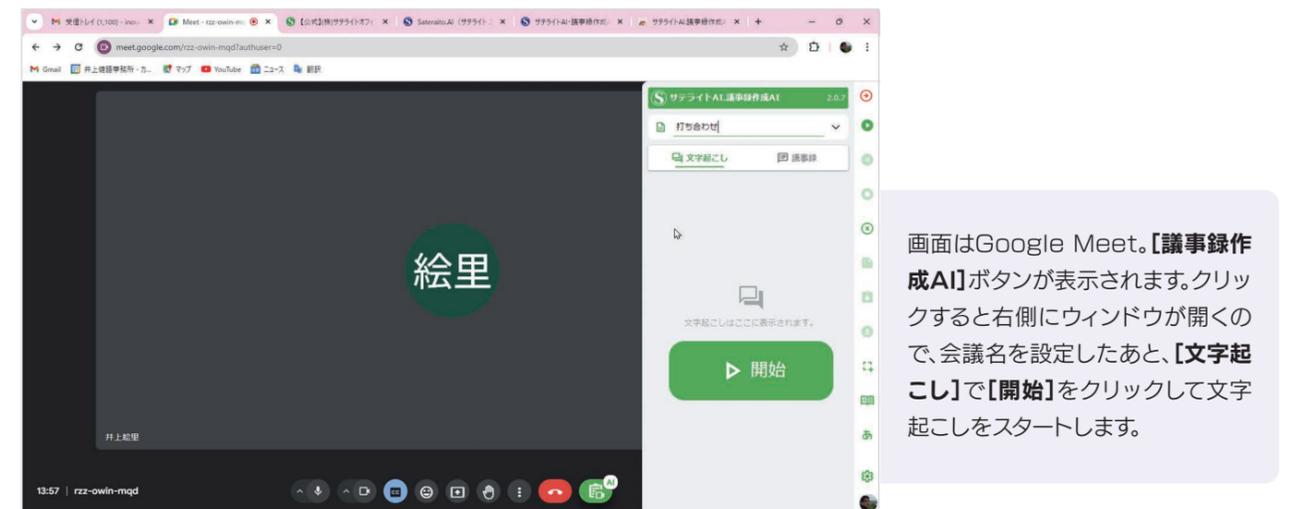
**概要** ビデオ会議システムの内容を自動的にテキスト化して文字起こしデータをリアルタイムで作成するとともに、会議の内容を整理して議事録を作成するサービスです。対応しているビデオ会議システムは、以下のとおりです（いずれもブラウザ版に対応）。

- Google Meet
- Microsoft Teams
- Zoom

利用するには、Google Chromeの拡張機能「サテライトAI議事録作成AI」をインストールしてオンにします。すると、ビデオ会議システムを起動してビデオ会議を開始したとき、「議事録作成AI」ボタンが表示されます。クリックすると右側にウィンドウが表示され、「文字起こし」または「議事録」を作成できる準備が整います。

記録を取るには、最初に文字起こしをスタートし、そのあとで議事録の作成をスタートしてください。

なお、作成した文字起こしデータと議事録データは、CSV/テキスト/PDFなどのファイルでダウンロードすることができます。



参加者の発言が、リアルタイムに文字起こしされます。

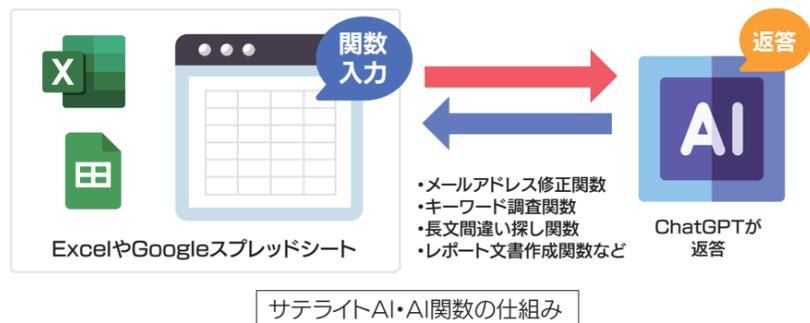
【議事録】で【議事録作成】をクリックします。

議事録の作成がスタートします。

## サテライトAI・AI関数



**概要** ExcelやGoogleスプレッドシートで利用できるChatGPT対応の関数です。ChatGPTに問い合わせた回答を、セルに表示させることができます。



たとえば、7-20 は CHATGPT\_ASK() という関数を利用した例です。

## 7-20

質問	ChatGPTの回答
Microsoftの設立年月日教えて！	アメリカ合衆国ワシントン州に本社を置く、ソフトウェアを開発、販売する会社である。1975年にビル・ゲイツとポール・アレンによって創業された。1985年にパソコン用OSのWindowsを開発。1990年にWindows向けのオフィスソフトとしてMicrosoft Officeを販売。1995年にウェブブラウザのInternet Explorerをリリース。2001年に家庭用ゲーム機のXboxを販売。2009年に検索エンジンのBingを設立。2010年にクラウドサービスとしてAzureを開始。2015年7月15日Microsoft Edgeを開発。そして展開。2021年11月時点での時価総額がAppleに次いで世界2位。
Amazon	アメリカ合衆国のワシントン州シアトルに本拠地を置く企業である。主軸はインターネット経由の小売であるが、その他にもクラウドコンピューティングなどを手掛けている。同社は「世界で最も影響力のある経済的・文化的勢力の一つ」と呼ばれ、世界で最も価値のあるブランドとされている[4]。またビッグテックの一つである。
AIのセキュリティとは？(200文字以内)	この関数を実行する為、メニューの「再計算」ボタンをクリックしてください。
ChatGPTとは？(200文字以内)	この関数を実行する為、メニューの「再計算」ボタンをクリックしてください。

CHATGPT\_ASK() を利用した例

セルC6には、次のような関数が入力されています。

`=CHATGPT_ASK(B6)`

セルB6には「Microsoftの設立年月日を教えて!」と入力されているので、その文章でChatGPTに問い合わせが行われ、結果がセルC6に表示されています。

このように、ChatGPTで調べたいことをあらかじめセルに入力しておけば、関数を使って一気に調査することが可能です。

ただし、つねに問い合わせが行われると利用料金が高額になるリスクがあるので、関数によるChatGPTへの問い合わせは、有効/無効を切り替えられようになっています。

次の表は、あらかじめ用意されている関数の一覧です。なお、サテライトオフィスでは、利用企業に合わせて独自の関数を開発するサービスも提供しています。詳しくはサテライトオフィスまで、お問い合わせください。

## サテライトAI・AI関数(ChatGPT対応)一覧

※詳細な使い方、引数情報などはサテライトオフィスにお問い合わせください。

名前	関数	機能
メールアドレス修正関数	CHATGPT_AUTOCOMPLETE()	メルマガ用などのメールアドレス一覧で、間違っているアドレスを修正する。
キーワード調査関数	CHATGPT_ASK()	質問キーワードを登録し、自動的にChatGPTから回答を取得して保存する。
サンプルデータ生成関数	CHATGPT_GENERATE_DATA()	サンプルデータを登録し、それを参考にして多くのサンプルデータを作成する。
文書要約関数	CHATGPT_SUMMARIZE()	長い文書を要約する。
文書訂正関数	CHATGPT_CORRECT()	文書を訂正する。
長文間違い探し関数	CHATGPT_CHECK()	長文の間違いを探して修正する。
メールテンプレート作成関数	CHATGPT_EMAIL()	メールのテンプレートを作成する。
レポート文書作成関数	CHATGPT_GENERATE_REPORT()	レポートの文書を作成する。
プログラムコード生成関数	CHATGPT_CODE()	プログラムを作成する。
インターネットの各種一覧収集関数	CHATGPT_TABLE()	インターネットの情報を調査して表形式で回答する。
各言語への翻訳関数	CHATGPT_TRANSLATE()	他言語に翻訳する関数。翻訳先の言語は引数で指定する。
データ抽出関数	CHATGPT_EXTRACT()	対象の文書の中からメールアドレスや電話番号などを抽出する。
データフォーマット変換関数	CHATGPT_FORMAT()	データフォーマットを変換する。



## サテライトAI・プラグイン(ChatGPTプラグイン)



## 概要

Google Chrome/Microsoft EdgeでChatGPTを利用する際に便利な拡張機能です。Google Chrome/Microsoft Edgeに拡張機能をインストールしたあと、ChatGPTにアクセスすると、質問入力欄に[音声入力][プロンプト]のボタンが表示されるようになります。

[音声入力]ボタンをクリックすると、質問を音声で入力できます。[プロンプト]ボタンをクリックすると、プロンプトの一覧を表示して、そこから選択できます。あらかじめ用意されているプロンプトの他に、独自のプロンプトを登録することも可能です。

また、管理者画面で禁止ワードを設定したり、利用者の制限、ログの収集などを行ったりすることもできます。



ChatGPTの質問入力欄に[音声入力][プロンプト]のボタンが追加されます。[音声入力]ボタンをクリックすると音声による質問文の入力が可能です。また、回答を音声で再生することもできます。



[プロンプト]ボタンをクリックすると、プロンプトの一覧から選択して質問のプロンプトを入力できます。

## サテライトAI・社内ドキュメントRAG学習 データ作成SDK



## 概要

通常、生成AIは事前に学習した情報しか回答することはできません。しかし、それでは学習されていない最新情報や社内の情報を検索できません。

そこで用意されているのが「RAG学習」です。これは「Retrieval-Augmented Generation」の略で、「検索で強化された生成」という意味です。具体的には、AIのモデルが持っていない情報をAIが検索できるようにして、その検索結果をもとに回答を生成できるようにします。企業においては、特に生成AIで社内情報も含めて回答させたいときに必要になります。

RAG学習を行うためにはRAG用のデータを作成する必要がありますが、「サテライトAI・社内ドキュメントRAG学習 データ作成SDK」は、そのRAG用データを作成するためのSDK(ソフトウェア開発キット)です。対応しているのは、次のサービスです。

- Azure OpenAI Service
- Google VertexAI
- OpenAI API Assistant API

これらのサービスを利用している場合は、本SDKを利用することで、RAGデータの作成からデータのアップロードまでの作業を効率的に行うことができます。



RAG学習に必要なプロセス

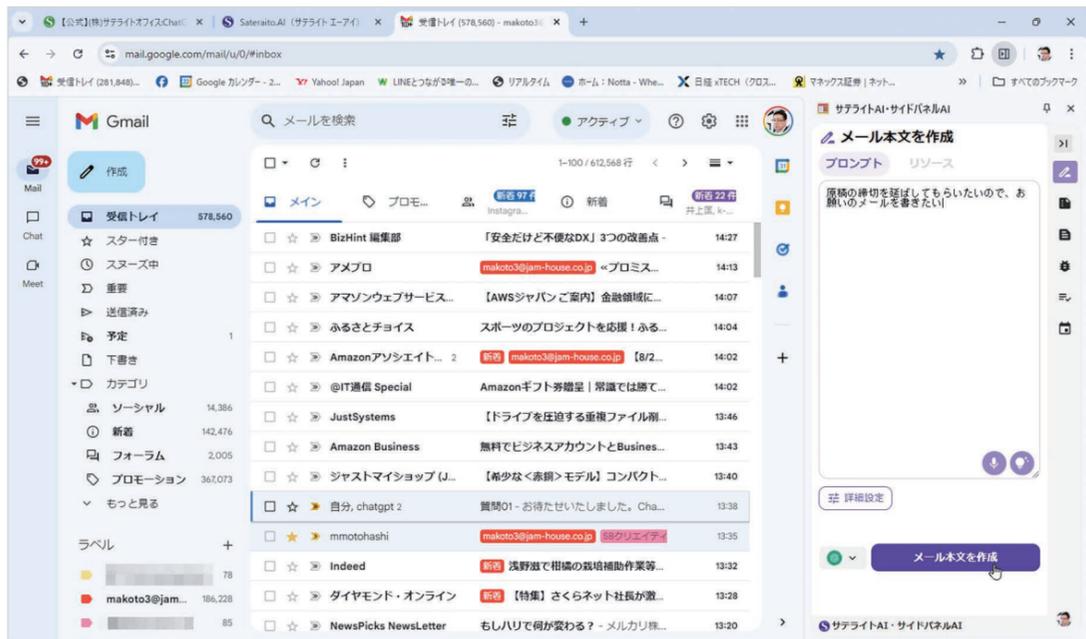
# サテライトAI・サイドパネルAI



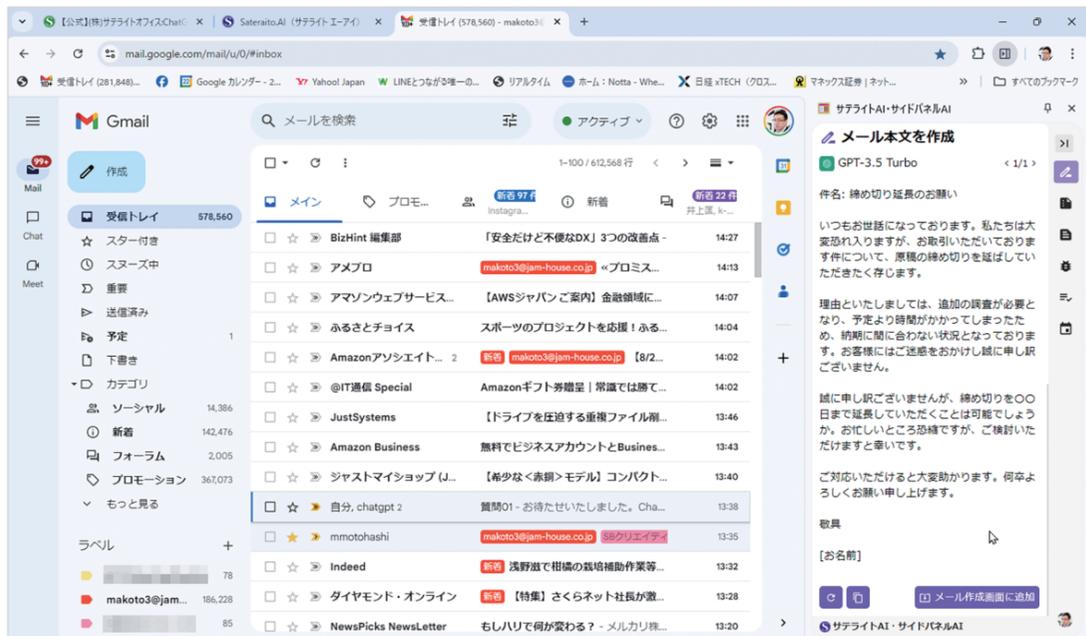
**概要** Google WorkspaceやMicrosoft 365、LINE WORKS、SlackなどをWebブラウザで利用中に、右側に生成AIのパネルを表示して、さまざまな作業を支援するツールです。原稿執筆時点ではGmailにのみ対応していますが、その他のアプリにも対応予定です。

利用するには、Google ChromeやMicrosoft Edgeの拡張機能をインストールします。インストール後、拡張機能を有効にすると、右側にウィンドウが表示されます。

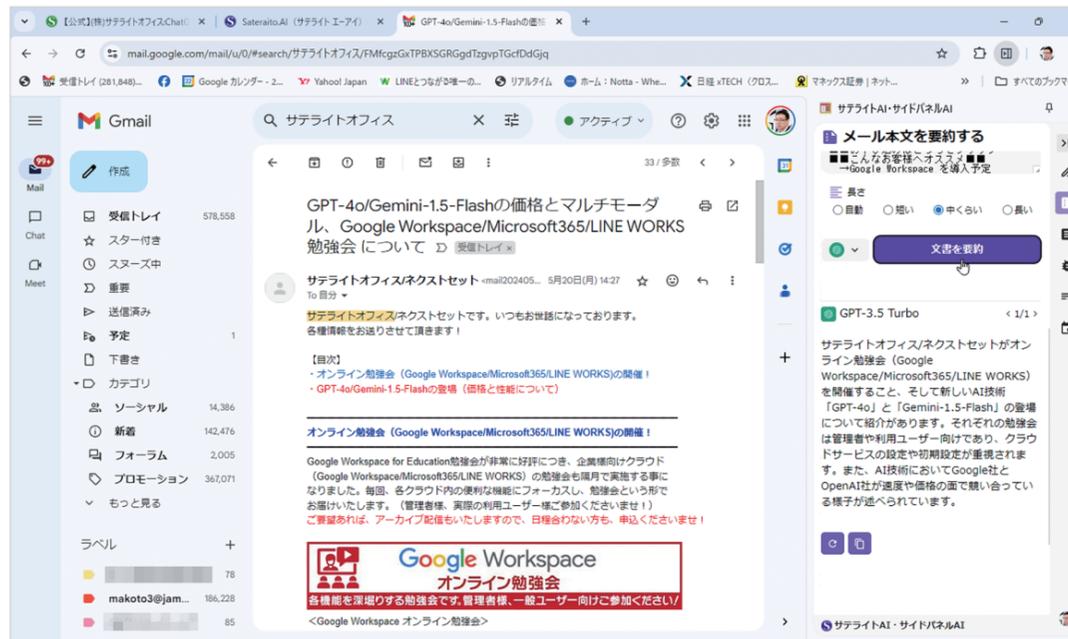
たとえばGmailであれば、新規メールの作成、返信文書の作成、メール内容の要約、スケジュール調整メールの作成などができます。



どんなメールを書きたいかを入力して[メール本文を作成]をクリックします。



メール本文が自動的に作成されるので、必要な箇所を追加・修正してメールを作成できます。



受信したメールの内容を要約することも可能です。

## その他の生成AIサービス



サテライトオフィスでは、ここで紹介した以外にも、新しい生成AIサービスを順次開発・リリースしています。また、既存の生成AIサービスについても、随時、機能を追加・更新していますので、最新の情報は以下を参照してください。

株式会社サテライトオフィス

価格 お問い合わせ 要望登録はこちら

### サテライトオフィス 企業活用ChatGPT/Gemini Azure OpenAI Service 導入支援

無償導入キャンペーン GPT-4対応済(有償) Azure OpenAI Service済 Google社 Gemini 対応 Google社 VertexAI 対応 Claude3 対応

特許申請番号:2023-077721/2023-087873/2023-088012/2023-096675/2023-096714/2023-109995/2023-135103/2023-125216/2023-125245/2023-125317/2023-135161/2023-172418/2023-172476/2023-172528/2023-192094/2023-192146/2023-192213/2023-205335/2024-005141/2024-027994/2024-067340/2024-075578/2024-067340/2024-075578/2024-082269/2024-082269/2024-075578/2024-067340/2024-156540

「サテライトAI」は、AI主要プラットフォームであるChatGPT/Google Gemini/Google VertexAI/Microsoft Azure OpenAI/Claudeなどの機能を内包した法人向けのサテライトオフィス独自のAIソリューションです。

無償の導入支援やお困りの時でも直ぐに繋がるカスタマーサポート対応のため、ご安心して法人向けのAIソリューションをご活用できます。

**Sateraito.AIのホームページ**

[https://www.sateraito.jp/sateraito\\_AI/](https://www.sateraito.jp/sateraito_AI/)



# サテライトオフィス 企業活用ChatGPT/Gemini Azure OpenAI Service 導入支援

サテライトオフィスのAIソリューションは、  
「サテライト.AI」ブランドとして提供していきます！

- 無償導入  
キャンペーン
- GPT-4  
対応済  
(有償)
- Azure  
OpenAI  
Service済
- Google社  
Gemini  
対応
- Google社  
VertexAI  
対応
- Claude3  
対応

企業内で、ChatGPT(チャットGPT)/Azure OpenAI Service の導入を支援いたします。  
ChatGPT/Azure OpenAI Service/Google Palm2 を始めとした生成AIを活用して  
企業の業務改善をサポート。法人向けのChatGPT、生成AIの導入はサテライトオフィスへ

ChatGPT(チャットGPT)などのAIを使い、  
どのような業務を効率化したいでしょうか？

例

- 社内マニュアル&文書を理解し、AI問合回答してもらいたい
- 各業務に特化したメール返信文書を作成してほしい！
- お詫び状をつくってほしい！
- 要件定義や設計書の雛形を作成してほしい！
- Excel関数、マクロ、各プログラムのサンプルを作成してほしい！
- 日報を要約してサマリー化してほしい！
- 会議の議事録をAIで作成してほしい！
- FAXをOCRで読み込み、自動的に、一覧にしてほしい！
- 契約書のチェックをしてほしい！

企業内で、ChatGPT(チャットGPT)の導入を支援いたします。  
汎用的な部分は安価にサービス化し、企業オリジナルな部分は、  
ソリューション化で対応します。

AIソリューションを色々をご用意しております。  
詳しくはホームページをご覧ください。



[https://www.sateraito.jp/sateraito\\_AI/](https://www.sateraito.jp/sateraito_AI/)